技術の日立



進んだ技術は、人にやさしい。

コンピュータなどの高度なエレクトロニクス機器が、私たちのみぢかな存在となってきました。それだけに、いま、なによりも重要になっているのが、人と機械のよりよい関係をつくりあげること。日立が、機械やシステムを手軽に使えるようにするための研究に力を注いでいるのも、そうした人間と機械のフレンドリーな関係の実現をめざしているからです。誰もが高度な技術と親しくつきあえるようにするため、機械やシステムを人間に近づける努力をする———それが日立の考えるインターフェイスです。

Interface

インターフェイスは、"人と技術の理想をめざす"日立のスローガンです。

株式会社 日立製作所 宣伝部 〒101 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 TEL.(03)258-1111(大代)

第16回全国中学校大会

〈男子〉都呂々（熊本）が
〈女子〉小　杉（富山）
ともに初の栄冠に輝く

第16回全国中学校大会は、８月21日から24日までの４日間、男女各16校が参加して岐阜県民体育館で開催された。

男子は都呂々（熊本）が、終始安定した戦いぶりを見せて初優勝を飾った。女子は小杉（富山）が“三度目の正直”で、決勝進出３回目にして初の栄冠にたどり着いた。

男子

１回戦

豊中第二（大坂）10（5－3, 5－6）9 金津（福井）

〔戦評〕金津が２点を先取するが豊中も荒谷のシュートをきっかけに前半をリードする。後半、両チームとも攻撃で工夫したプレーがあり、１点を争うゲームであったが、豊中第二が勝利を得た。（井上）

〔金津〕	得		〔豊中〕	得
北嶋	0	GK	安部	0
岡田	0	GK	杉尾	0
浅田	3	FP	中井	0
石谷	0	FP	服部	0
中嶋	0	FP	柿原	4
児嶋	2	FP	荒谷	1
川崎	0	FP	尾崎	5
手塚	3	FP	檜	0
山口	0	FP	坂口	0
永岡	0	FP	中西	0
竹内	0	FP	福島	0
林	0	FP	福田	0
岡田	0	FP	福泉	0
高山	1	FP	北田	0
細川	0	FP	宮尾	0
(0)	9	PT	(1)	10

（審・細沢、久保田）

春日井中部（愛知）32（15－4, 17－8）12 倉敷南（岡山）

〔戦評〕立ち上がりから、春日井中部は全員が攻守ともによく動き、倉敷南を圧倒した。特に、つめの早いプレスディフェンスが有効的で、パスカット、ルーズボールからの速攻が目立った。倉敷南も狩屋、山岡のミドルシュートで対抗したが、散発に終わった。実力に勝る春日井中部のスピードとパワーに軍配が上がったゲームだった。（楓）

〔倉敷南〕	得		〔春日井〕	得
岡本	0	GK	山田克	0
三島	0	GK	林隆	0
野津	0	FP	林宗	6
南	0	FP	安藤	2
狩屋	3	FP	小林	5
佐川	3	FP	落合	4
山岡	5	FP	佐久間	4
古川	0	FP	林恭	3
中村	0	FP	山田浩	1
杉本	0	FP	鵜飼	2
伊五沢	0	FP	長谷川實	0
三宅	0	FP	長谷川史	1
金岡	0	FP	片平	3
永見	0	FP	高原	0
横田	1	FP	小田	1
(1)	12	PT	(3)	32

（審・中森、宇尾野）

喜久田（福島）22（11－5, 11－8）13 赤坂（岐阜）

〔戦評〕喜久田は、セットから遠藤、松谷、高橋らが着実にロングを決め、守りではGK国分の再三の好技によって赤坂の得点チャンスをつぶした。後半開始直後、石川のカットインで喜久田４得点を決め、試合を決めた。赤坂も速攻やサイドシュートで応戦したが、ノーマークシュートをはずすなどミスが目立った。（宮島）

〔赤坂〕	得		〔喜久田〕	得
岩田	0	GK	国分	0
渡部	0	GK	大木	0
長谷川	2	FP	遠藤	8
上吉原	1	FP	石川	7
小原	1	FP	本田	4
竹下	2	FP	鈴木広	2
河合	0	FP	松谷	1
岡田	0	FP	高橋	0
細野	1	FP	橋本	0
清水	0	FP	沢田	0
鎌倉	2	FP	根本	0
吉川	0	FP	鈴木孝	0
鈴木	4	FP	野内	0
橋本英	0	FP	木本	0
橋本周	0	FP	広瀬	0
(0)	13	PT	(0)	22

（審・溝口、稲石）

桜木（東京）19（7－11, 12－5）16 安慶田（沖縄）

〔戦評〕前半、足の止まった攻撃で安慶田に走られた桜木が、後半走り、10分後には４点差をつめ同点とし、その後もペースに乗り、高井のロング、速攻で安慶田を突き放し、桜木の勝利。（久保田）

〔安慶田〕	得		〔桜木〕	得
島袋	0	GK	梶山	0
大城	0	GK	吉岡	0
和宇慶	0	FP	高井	6
幸地	3	FP	斉藤	3
長嶺	0	FP	高橋	2
岳原	0	FP	佐藤	1
仲宗根寛	0	FP	槙	3
前島	0	FP	阿部	0
仲宗根充	1	FP	周藤	2
中村	0	FP	雨宮	2
尾宜	4	FP	村上	0
上原	2	FP	三浦	0
玉成	5	FP	山崎	0
古謝	0	FP	村田	0
根路銘	0	FP	堀野	0
(1)	16	PT	(2)	19

（審・島崎、井上）

下松（山口）26（11－3, 15－8）11 湯川（北海道）

〔戦評〕両チームとも緒戦とは思えない立ち上がり、キビキビとした動きで攻防ともに白熱した展開となる。しかし、ゲームの主導権をつかんだのは下松。ディフェン

〔湯川〕	得		〔下松〕	得
鈴木	0	GK	亀山	0
藤巻	0	GK	宮本	0
鷲沢	7	FP	林	4
谷口文	0	FP	清水	10
中浜	1	FP	湯浅	3
吉田真	0	FP	柴田	0
中島	1	FP	河内	4
渡部	0	FP	国弘	5
納谷	2	FP	福永	0
黒島	0	FP	塩川	0
吉田伸	0	FP	松島	0
山田	0	FP	大石	0
土屋	0	FP	近藤	0
谷口竜	0	FP	北風	0
伊藤	0	FP	中原	0
(0)	11	PT	(7)	26

（審・有田、竹内）

スから速攻へとスピーディな展開で一気に攻めたてる。湯川も鳶沢を中心にセットでの攻撃力に活路を見い出すが、下松の粘り強いディフェンスに困惑気味。
　結局、ややセットオフェンスに課題はあるものの、スピードで上回る下松が湯川を圧倒した試合であった。（渡辺）

都呂々（熊本）23 〔11−8／12−11〕 19 中野（埼玉）

〔戦評〕都呂々はフェイントからのズラシでサイドシュートを確実に決め、つめがないと見ると松本がミドルシュートを決め、終始試合をリードした。中野もポスト、ロングで互角の戦いに持ち込むがノーマーク、サイド、ペナルティーと計6本のシュートを阻んだ都呂々GK鎌田の活躍でリードを広げ、勝利を得た。（宮島）

〔中野〕	得		〔都呂々〕	得
市島	0	GK	鎌田	0
諸橋	0	GK	平田浩	0
田村	6	FP	長田	0
渋谷	8	FP	松本和	0
斉藤	2	FP	田尻	4
旭	0	FP	前川	3
原	2	FP	松尾	0
石原	0	FP	松本幸	9
鈴木	1	FP	武藤	2
石田	0	FP	松村	0
牛山	0	FP	濱田	1
藤原	0	FP	平田泰	4
藤倉	0	FP	青瀬	0
関	0	FP	坂本	0
武井	0	FP	松本真	0
(4)	19	PT	(0)	23

（審・日比、川合）

板津（石川）15 〔6−7／9−7〕 14 西笹川（三重）

〔戦評〕前半、板津は西笹川の2トップ・プレスディフェンスに戸惑い、リズムをつかみ切れないようであり、西笹川のパスカットからの速攻を許すという展開であった。西笹川は速い展開から多彩な攻撃をくり出し、板津は山本のカットインを軸に1点差まで追い上げ前半を終了した。
　後半立ち上がり、両チームとも激しいディフェンスのため攻め切れずにいたが、西笹川は伊藤、島澤の活躍、板津は水口の活躍などで一進一退となる。同点で迎えた終了間際、板津・山本のミドルが決まり、板津初めてのリードで試合終了となる。白熱した好ゲームであった。（有岡）

〔西笹川〕	得		〔板津〕	得
川口	0	GK	辻本	0
鍋島	0	GK	吉田	0
伊藤剛	2	FP	高橋	2
島澤	4	FP	正寺	0
青柳薫	4	FP	山本高	6
青柳希	2	FP	三宅	0
近俊	2	FP	北田	0
古川	0	FP	平加	0
出口	0	FP	山本哲	0
坂田	0	FP	津田	0
中村拓	0	FP	水口	3
伊藤利	0	FP	岩田	0
森田	0	FP	中田	0
坂井	0	FP	大壁	2
中村亮	0	FP	井上	2
(2)	14	PT	(0)	15

（審・杉本、工藤）

木太（香川）17 〔5−9／12−7〕 16 小部（兵庫）

〔戦評〕立ち上がり、両チームとも堅いディフェンスで相手に得点を許さなかったが、ようやく7分小部は神原が先取、試合の主導権を握り、9−5で前半を終了。後半は立ち上がりから木太・山崎が切れ込んで3連取。その後は、小部の荒いディフェンスで退場者が続出し、チームのムードを最後まで保った木太が小差で逃げ切った。（浅野）

〔小部〕	得		〔木太〕	得
西篠	0	GK	上枝	0
田中隆	0	GK	石田	0
岡田	4	FP	恒石	0
朝原	2	FP	安藤	0
神原	2	FP	山崎	8
田中康	1	FP	神原	0
治井	5	FP	横山	5
岩崎	2	FP	北村	0
因幡	0	FP	新田	1
田中努	0	FP	河合	1
山本	0	FP	垂水	1
中山	0	FP	西塚	0
高木	0	FP	壺井	0
森田	0	FP	由良	0
北村	0	FP	白井	0
(1)	16	PT	(6)	17

（審・溝口、稲石）

2回戦

春日井中部 17 〔9−7／8−7〕 14 豊中第二

〔戦評〕前半立ち上がり、やや堅さの見られる両チーム。先にペースをつかんだのは春日井。林、落合のカットイン、ミドルを中心にリードする。豊中は、中井の気迫あふれるロングシュートで追い上げるが、春日井2点リードで前半終了。後半、豊中が中井、荒谷のロングシュートで試合をリードし、10分過ぎ同点に追いつくが、その後ディフェンスが乱れ、ペナルティースローから再びリードを許す。その後追い上げたが、中井をマンツーされ、今一歩とどかず試合を終る。（有岡）

〔豊中〕	得		〔春日井〕	得
安部	0	GK	山田克	0
杉尾	0	GK	林隆	0
中井	10	FP	林宗	6
服部	0	FP	安藤	2
柿原	0	FP	小林	1
荒谷	3	FP	落合	2
尾崎	1	FP	佐久間	2
檜	0	FP	林恭	2
坂口	0	FP	山田浩	2
中西	0	FP	鵜飼	0
福島	0	FP	長谷川寛	0
福田	0	FP	長谷川史	0
福泉	0	FP	片平	0
北田	0	FP	高原	0
宮尾	0	FP	小田	0
(2)	14	PT	(3)	17

（審・渡辺、楓）

桜木 23 〔10−9／13−8〕 17 喜久田

〔戦評〕前半、桜木のやや無理な攻撃を守り、遠藤のシュートを中心に喜久田がリードしたが、10分以後速攻をくり出した桜木が1点リードして前半を終えた。後半も速攻をくり出す桜木に対してミドル、ロングで応戦した喜久田だが惜しくも敗れた。（野久）

〔喜久田〕	得		〔桜木〕	得
国分	0	GK	梶山	0
大木	0	GK	吉岡	0
遠藤	9	FP	高井	4
石川	3	FP	斉藤	4
本田	3	FP	高橋	4
鈴木広	0	FP	佐藤	1
松谷	1	FP	槙	0
高橋	1	FP	阿部	3
橋本	0	FP	周藤	1
沢田	0	FP	雨宮	6
根本	0	FP	村上	0
鈴木幸	0	FP	三浦	0
野内	0	FP	山崎	0
木本	0	FP	村田	0
広瀬	0	FP	堀野	0
(1)	17	PT	(0)	23

（審・浅野、玉田）

都呂々 22 〔11−8／11−7〕 15 下松

〔戦評〕両チームとも立ち上がりからスピーディな攻防を見せ、一進一退の展開となった。下松は、ディフェンスからの速攻で加点、都呂々は松本を中心にセット攻撃に冴えを見せ、都呂々の3点リードで前半終了。後半に入っても、都呂々は堅いディフェンスで下松を苦しめ、安定したペースでゲームを進めた。（楓）

〔下松〕	得		〔都呂々〕	得
亀山	0	GK	鎌田	0
宮本	0	GK	平田浩	0
林	0	FP	長田	0
清水	2	FP	田尻	4
湯浅	6	FP	前川	5
柴田	0	FP	松尾	1
河内	3	FP	松本幸	8
国弘	2	FP	武藤	1
福永	0	FP	松村	0
塩川	2	FP	濱田	1
松島	0	FP	平田泰	2
大石	0	FP	青瀬	0
近藤	0	FP	坂本	0
北風	0	FP	松本真	0
中原	0	FP		
(1)	15	PT	(2)	22

（審・有岡、竹内）

板津 19 〔8−8／11−5〕 13 木太

〔戦評〕前半より1点を争う好ゲームとなった。
　木太は山崎を中心にしつこくボールを回して善戦したが、後半、板津は勝負所で高橋、水口がロングシュートを決め、追いすがる木太を振り切った。（玉田）

〔木太〕	得		〔板津〕	得
上枝	0	GK	辻本	0
石田	0	GK	吉田	0
恒石	0	FP	高橋	7
安藤	0	FP	正寺	0
山崎	5	FP	山本高	3
神原	0	FP	三宅	0
横山	4	FP	北田	0
北村	0	FP	平加	0
新田	0	FP	山本哲	0
河合	0	FP	津田	0
垂水	1	FP	水口	4
西塚	3	FP	岩田	0
壺井	0	FP	中田	1
由良	0	FP	大壁	2
白井	0	FP	井上	2
(5)	13	PT	(0)	19

（審・平賀、野久）

準決勝

春日井中部 17 〔7−7／10−8〕 15 桜木

〔戦評〕各種シュートを駆使し巧みに得点する春日井中部、高井を中心にフェイントあるいはズラシてサイドシュートで得点する桜木。各々スピードある攻撃で見応えがあった。春日井・林のディフェンスの虚をつくステップシュートが効果的であった。（工藤）

〔桜木〕	得		得	〔春日井〕
梶尾	0	GK	0	山田克
吉岡	0	GK	0	林隆
高井	5	FP	5	林宗
斉藤	1	FP	3	安藤
高橋	2	FP	3	小林
佐藤	2	FP	2	落合
槙	0	FP	2	佐久間
阿部	0	FP	0	林恭
周藤	3	FP	2	山田浩
雨宮	2	FP	0	鵜飼
村上	0	FP	0	長谷川寛
三浦	0	FP	0	長谷川史
山崎	0	FP	0	片平
村田	0	FP	0	高原
堀野	0	FP	0	小田
(0)	15	PT	17	(1)

（審・島崎　井上）

都呂々 19（10−6, 9−9）15 板津


男子決勝，都呂々対春日井中部の戦い

〔戦評〕都呂々・前川のシュートで先取点をあげ、のちディフェンスから速攻へとスピーディな動きと多彩な攻撃で連取する。

後半に入っても、都呂々は持ち前の素早いパスワークで着々と加点する。

一方、板津もよく善戦するが、攻撃が少し劣り、ディフェンスが甘く、敗退した。（井上）

〔板津〕	得		得	〔都呂々〕
辻本	0	GK	0	鎌田
吉田	0	GK	0	平田浩
高橋	2	FP	0	長田
正寺	0	FP	4	田尻
山本高	3	FP	6	前川
三宅	0	FP	0	松尾
北田	0	FP	5	松本幸
平加	0	FP	0	武藤
山本哲	0	FP	0	松村
津田	0	FP	0	濱田
水口	3	FP	4	平田泰
岩田	0	FP	0	青瀬
中田	0	FP	0	坂本
大壁	1	FP	0	松本真
井上	4	FP		
(0)	15	PT	19	(3)

（審・杉本　工藤）

決勝

都呂々 18（10−6, 8−6）12 春日井中部

〔戦評〕都呂々はディフェンスの間からクイックで打つジャンプシュートが小気味よく決まり、またGK鎌田の好守もあって4−0と試合をリード。春日井中部もポスト、ミドルで対抗するが、得意の速攻でのパスがつながらず苦戦をしいられた。

後半開始早々春日井はポストで得点し、猛チャージをかけるが、肝心な所でラインクロスを犯したり、相手GKの好守に阻まれたりして差を縮めることができなかった。その後、両チームとも息もつかせぬ攻防を続け、互いに得点を重ねたが、都呂々は要所〳〵でシュートを確実に決め、スカイプレーを見せるなど多彩な攻撃で春日井中部を圧倒した。GK鎌田が再三ノーマークを阻み、堅実なプレーを見せた（宮島）

〔春日井〕	得		得	〔都呂々〕
山田克	0	GK	0	鎌田
林隆	0	GK	0	平田浩
林宗	2	FP	0	長田
安藤	3	FP	0	松本和
小林	3	FP	5	田尻
落合	0	FP	3	前川
佐久間	0	FP	1	松尾
林恭	3	FP	3	松本幸
山田浩	1	FP	1	武藤
鵜飼	0	FP	0	松村
長谷川寛	0	FP	3	濱田
長谷川史	0	FP	2	平田泰
片平	0	FP	0	青瀬
高原	0	FP	0	坂本
小田	0	FP	0	松本真
(2)	12	PT	18	(0)

（審・島崎　井上）

女子

1回戦

伊奈東（茨城）13（5−2, 8−5）7 豊中第十（大阪）

〔戦評〕オープニングゲームのためか両チームとも堅さが見られ、小さなミスが見られたが、オフェンス、ディフェンスとも力のある伊奈東がカットイン、半速攻などで得点を重ねた。後半もペナルティースローだけに頼る豊中第十に対して、ロング、カットインなどにより伊奈東が差を広げた。（野久）

〔豊中〕	得		得	〔伊奈東〕
橋本和	0	GK	0	佐藤
藤原	0	GK	0	岡崎由
橋本由	0	FP	6	岡崎信
前川	0	FP	0	小島
高田	6	FP	4	三輪
川端	0	FP	1	大野
浦上	0	FP	1	大久保
大館	1	FP	1	森山
山本	0	FP	0	岡部
大杉	0	FP	0	海老原
石川	0	FP	0	高橋
鎌田	0	FP	0	稲垣
田口	0	FP	0	小谷内
今村	0	FP	0	根本
田中	0	FP	0	伊丹
(5)	7	PT	13	(2)

（審・日比　川合）

矢田（愛知）18（8−5, 10−12）17 下松（山口）

〔戦評〕両チームともスピードあふれるプレーを展開し、接戦の末矢田が勝つ。前半は矢田・相澤とGKの活躍で8−5とリード。

後半、下松は激しい追い上げを見せて10−10、13−13と同点とするが、後一歩リードすることができなかった。（大矢）

〔下松〕	得		得	〔矢田〕
阿浜	0	GK	0	宮部
中川	0	GK	0	平崎
重国	4	FP	9	上松
河村	1	FP	5	相澤
田村	5	FP	0	塩見
小林	2	FP	3	飯田
平野	1	FP	0	北村
世良	4	FP	1	長本
野田	0	FP	0	上田
高井	0	FP	0	藤田
難波	0	FP	0	花田
石倉	0	FP	0	岡村
面木	0	FP	0	石橋
鎌田	0	FP	0	白戸
石津	0	FP	0	本間
(1)	17	PT	18	(3)

（審・高野　斉藤）

桜丘（岐阜）21（10−2, 11−3）5 湯川（北海道）

〔戦評〕大会初日ということで両チームとも堅さが見られ、基本的ミスが目立ったが、後半疲れの見えた湯川に対し、桜丘が速攻で着実に得点を重ね、21−5で逃げ切った。湯川は暑さのせいか今一つ元気がなかった。（玉田）

〔湯川〕	得		得	〔桜丘〕
和泉	0	GK	0	平光
		GK	0	小川
松本	0	FP	6	富永
中野	0	FP	3	早矢仕
吉田	0	FP	0	田中
中浜	2	FP	2	南島
長谷川	2	FP	1	平岩
木下	1	FP	3	松原
		FP	4	小木曽
		FP	0	森田
		FP	1	今西
		FP	0	上井
		FP	0	下川
		FP	0	増田
		FP	1	加藤
(1)	5	PT	21	(1)

（審・平賀　野久）

御幸 13（7−7, 6−4）11 明野

〔戦評〕前半、明野は松本のロングシュート、御幸は西のポストプレーを中心に互角のゲームを展開し、同点で終った。後半、明野は攻撃で足が止まり、御幸の速攻を再三受けたが、GK遠竹の好キープによりリードを保っていた。13分、御幸・三安の速攻、宮崎のセンターへのカットインにより追いつきリードする。明野はGKの好キープを攻撃に結びつけることができなかったことが悔やまれる。（有岡）

	〔明野〕	得	〔御幸〕	得
GK	遠竹	0	小前田た	0
GK	前川	0	小前田み	0
FP	徳光	1	石田	1
FP	香川	1	野沢	3
FP	小野	1	西	5
FP	田中	0	三安	2
FP	竹田	0	横江	0
FP	甲斐	2	原	1
FP	松本	6	上口	0
FP	古宅	0	石原	0
FP	清水	0	佐々木	0
FP	吉永	0	田端	0
FP	実川	0	川村	0
FP	児玉	0	山副	0
FP	森山	0	宮崎	1
PT	(1)	11	(0)	13

（審・大矢 荒川）

西笹川（三重） **20** 〔8−2 12−4〕 **6** **安慶田**（沖縄）

〔戦評〕西笹川は長身サウスポー中子のロングシュートと山本、寺前の速攻で得点を重ね、20−6で勝ち2回戦に進出。安慶田も屋宜を中心によく走り回ったが大型チームの守りを崩すことができなかった。（大矢）

	〔安慶田〕	得	〔西笹川〕	得
GK	森田	0	柴田	0
GK	玉城	0	内田	0
FP	湧川	0	中子	8
FP	比嘉貴	0	高峰	1
FP	上運天	0	山本	1
FP	屋宜	4	寺前	6
FP	友利	0	石山	3
FP	具志堅	0	野田	1
FP	高江洲	0	岡	0
FP	当原	0	川口	0
FP	仲地	0	伊藤	0
FP	浦崎	2	川村	0
FP	喜久本	0	多川	0
FP	比嘉優	0	石原	0
FP	狩俣	0	柳園	0
PT	(1)	6	(1)	20

（審・渡辺 楓）

小杉（富山） **18** 〔4−8 14−2〕 **10** **山田**（香川）

〔戦評〕前半、両チームとも初戦のためか堅さが目立ち、キャッチミス、パスミスが多かったが、山田がポストを使い、前半をリードした。後半に入り、落ち着きをとり戻した小杉が、相手チームのミスやパスカットを速攻にして得点をあげていった。（野久）

	〔山田〕	得	〔小杉〕	得
GK	武田	0	島倉	0
GK	多田	0	杉森	0
FP	山本	3	大郷	1
FP	穴吹	2	大前	5
FP	五ノ坪	1	田町	2
FP	岩沢	2	川腰	5
FP	細川	0	近藤	0
FP	田口	0	島	3
FP	橋谷	2	下条	2
FP	宮本純	0	高尾	0
FP	土井	0	砂原	0
FP	熊野	0	宮腰	0
FP	赤松	0	石田	0
FP	十河	0	大門	0
FP	宮本貴	0	宮城	0
PT	(0)	10	(0)	18

（審・浅野 玉田）

中野（埼玉） **31** 〔16−4 15−4〕 **8** **中田**（宮城）

〔戦評〕前半、中田がやや単調な攻撃から打ち込むロングシュートをディフェンスやGKの守りからワンパス速攻につないだ中野が得点を重ねた。後半とも中田の攻撃が池田、石坂に片寄るところをよく守り、速攻で得点をあげた。（細沢）

	〔中田〕	得	〔中野〕	得
GK	柿沼	0	原	0
GK	今内	0	高松	0
FP	池田	4	浅田	6
FP	小野寺	0	浅子	6
FP	石垣	4	岩村	4
FP	菅原	0	三ノ輪	4
FP	沼倉	0	工藤	1
FP	伊藤	0	曽我	1
FP	佐藤真	0	津田	3
FP	佐藤浩	0	太田	6
FP	太田	0	金丸	0
FP	岩間	0	小守	0
FP	相沢	0		
FP	豊田	0		
FP	桧野	0		
PT	(0)	8	(4)	31

（審・中森 宇尾野）

大瀬（奈良） **16** 〔7−3 9−3〕 **6** **境港第二**（鳥取）

〔戦評〕大瀬は全員がよく走り、ボールを廻してチャンスをつかみ着実に加点。境港二はシュートが甘く、ロングシュートに頼り、コントロールも悪く得点のチャンスをつぶす。攻守ともにリズムの良い大瀬の順当勝ちであった。（島崎）

	〔境港〕	得	〔大瀬〕	得
GK	新谷	0	上田	0
FP	石井	0	中井	0
FP	立花	3	稲沢	7
FP	遠藤	0	平井	1
FP	板倉	0	井口	1
FP	森野	0	小野	3
FP	金野	1	辻	0
FP	磯埜	1	中里	2
FP	大田	1	中尾	1
FP	木村	0	吉川	1
FP	加藤	0		
FP	中田	0		
FP	小松	0		
FP	福井	0		
PT	(1)	6	(0)	16

（審・高野 斉藤）

2回戦

伊奈東 **14** 〔5−7 9−4〕 **11** **矢田**

〔戦評〕前半、矢田・相澤のロングシュートなどで得点をあげリードをする。一方、伊奈東も小島のカットインなどで追い上げ7−5で終了。後半立ち上がり、伊奈東も多彩な攻撃で4点を連取し7−9とする。矢田も反撃し、9−9、11−11と同点にするが、この時、矢田・相澤が退場となり、その間に2点をあげた伊奈東が逃げ切った。（大矢）

	〔矢田〕	得	〔伊奈東〕	得
GK	宮部	0	佐藤	0
GK	平崎	0	岡崎由	0
FP	上松	4	岡崎信	1
FP	相澤	6	小島	2
FP	塩見	0	三輪	4
FP	飯田	0	大野	3
FP	北村	0	大久保	0
FP	長本	1	森山	4
FP	上田	0	岡部	0
FP	藤田	0	海老原	0
FP	花田	0	高橋	0
FP	岡村	0	稲垣	0
FP	石橋	0	小谷内	0
FP	白戸	0	根本	0
FP	本間	0	伊丹	0
PT	(2)	11	(2)	14

（審・日比 川合）

御幸 **15** 〔8−4 7−6〕 **10** **桜丘**

〔戦評〕2回戦なので両チームともプレッシャーはなく、すばらしい走力での攻防戦を展開、ポストプレー、サイドシュート、速攻と

	〔桜丘〕	得	〔御幸〕	得
GK	平光	0	小前田た	0
GK	小川	0	小前田み	0
FP	富永	2	石田	1
FP	早矢仕	3	野沢	1
FP	田中	2	西	5
FP	南島	2	三安	3
FP	平岩	0	横江	0
FP	松原	1	原	2
FP	小木曽	0	上口	3
FP	森田	0	石原	0
FP	今西	0	佐々木	0
FP	上井	0	田端	0
FP	下川	0	川村	0
FP	増田	0	山副	0
FP	加藤	0	宮崎	0
PT	(1)	10	(4)	15

（審・中森 寺尾）

結びつけた。前半15分までは、お互いに互角の好ゲームであったが、大事な時、御幸・原のサイドの走りを生かした速攻に切り替えて、得点を積み重ねていった御幸の勝利となった。ペナルティースロー、シュートのミスが非常に目立ったのはとても残念であった。（高野）

小杉14（6−2／8−5）7西笹川

〔戦評〕立ち上がり堅さの見られた西笹川は、ロングシュートの多くがワクをはずれ苦しい戦いをしいられた。一方小杉は、脚力を生かし、着実に加点、前半を6−2で折り返した。後半に入ると、西笹川はプレー全体がスピードアップして追い上げたものの、細かなボールのつなぎで小杉が上回り、さらにリードを広げタイムアップとなった。（川合）

得	〔小杉〕		〔西笹川〕	得
0	島倉	GK	柴田	0
0	杉森	GK	内田	0
1	大郷	FP	中子	5
2	大前	FP	高峰	0
5	田町	FP	山本	1
1	川腰	FP	寺前	1
0	近藤	FP	石山	0
2	島	FP	野田	0
3	下条	FP	岡	0
0	高尾	FP	川口	0
0	砂原	FP	伊藤	0
0	宮腰	FP	川村	0
0	石田	FP	多川	0
0	大門	FP	石原	0
0	宮城	FP	柳園	0
14	(3)	PT	(1)	7

（審・大矢・荒川）

大瀬13（6−5／7−3）8中野

〔戦評〕立ち上がり、大瀬は早いパス回しからのカットインなどで得点を重ね、GKの好守もあって10分には6−2とリードした。しかし、それ以後足が止まりノーゴール。リズムが中野に移り前半は6−5で終了。後半は、再びペースをとり戻した大瀬が稲次のカットインなどでリードを広げ、勝利を収めた。（中森）

得	〔大瀬〕		〔中野〕	得
0	上田	GK	原	0
0	中井	GK	高松	0
6	稲沢	FP	浅田	2
1	平井	FP	浅子	4
3	井口	FP	岩村	2
2	小野	FP	三ノ輪	0
0	辻	FP	工藤	0
0	中里	FP	曽我	0
0	中尾	FP	津田	0
1	吉川	FP	太田	0
		FP	金丸	0
		FP	小守	0
13	(1)	PT	(1)	8

（審・高野・斉藤）

準決勝

御幸15（5−5／6−6／2−0／2−2）13伊奈東

〔戦評〕前・後半、両チームとも堅さが見られず、伸び伸びしたプレーであったが、ディフェンスは荒さが目立った。伊奈東のロングシュート、御幸のポスト、カットインシュートなどにより一進一退の攻防がつづき、今大会初の延長戦に入った。

御幸のGKの活躍により15−13で御幸の勝利となった。（溝口）

得	〔御幸〕		〔伊奈東〕	得
0	小前田た	GK	佐藤	0
0	小前田み	GK	岡崎由	0
3	石田	FP	岡崎信	0
3	野沢	FP	小島	2
2	西	FP	三輪	6
5	三安	FP	大野	3
0	横江	FP	大久保	1
0	原	FP	森山	1
2	上口	FP	岡部	0
0	石原	FP	海老原	0
0	佐々木	FP	高橋	0
0	田端	FP	稲垣	0
0	川村	FP	小谷内	0
0	山副	FP	根本	0
0	宮崎	FP	伊丹	0
15	(1)	PT	(5)	13

（審・細沢・久保田）

小杉11（4−3／7−5）8大瀬

〔戦評〕細かくボールをつなぐ戦法の大瀬は、小杉の好ディフェンスの前にチャージングをくり返し攻めあぐみ気味であった。小杉が大郷の速攻、田町のペナルティーでリードした後、大瀬も稲沢のステップ、川腰のステップで互角の戦いに持ち込んだ。両チームとも前半10分以降3−3のまま10分間近く無得点の状態が続き、終了間際、小杉が速攻を決め4−3として前半を終了。後半に入ると、小杉・大前と大瀬・稲次が打ち合い白熱した展開となったが、小杉が終始先手、先手と得点を重ね、勝利を手にした。（宮島）

得	〔小杉〕		〔大瀬〕	得
0	島倉	GK	上田	0
0	杉森	GK	中井	0
1	大郷	FP	稲沢	6
5	大前	FP	平井	0
2	田町	FP	井口	0
2	川腰	FP	小野	2
0	近藤	FP	辻	0
0	島	FP	中里	0
1	下条	FP	中尾	0
0	高尾	FP	吉川	0
0	砂原	FP		
0	宮腰	FP		
0	石田	FP		
0	大門	FP		
0	宮城	FP		
11	(1)	PT	(2)	8

（審・溝口・稲石）



女子決勝，小杉対御幸の一戦

決勝

小杉10（4−4／6−3）7御幸

〔戦評〕試合開始直後、御幸が野沢のカットインで先制。両チームともパスミス、シュートミスがやや目立ったが、小杉が大前と島のコンビプレーで同点とした。その後は互いに堅さがとれ互角の展開となった。後半、小杉はポストにボールを集め2点を連取したが、御幸も速い攻撃で3点を連取、そして今度は小杉が連続PTで一歩リードするなど決勝戦にふさわしい展開となった。互いにスピードあふれる攻撃をくり返すが、御幸は肝心な所でパスミスが出て得点できずに終ったのに対し、終了1分前、大前のミドル、田町の速攻で得点を加えた小杉が試合をリードし、全国大会優勝の栄冠を手にした。（宮島）

得	〔小杉〕		〔御幸〕	得
0	島倉	GK	小前田た	0
0	杉森	GK	小前田み	0
0	大郷	FP	石田	0
2	大前	FP	野沢	2
3	田町	FP	西	3
1	川腰	FP	三安	1
0	近藤	FP	横江	0
1	島	FP	原	1
3	下条	FP	上口	0
0	高尾	FP	石原	0
0	砂原	FP	佐々木	0
0	宮腰	FP	田端	0
0	石田	FP	川村	0
0	大門	FP	山副	0
0	宮城	FP	宮崎	0
10	(3)	PT	(0)	7

（審・日比・川合）

第30回全日本教職員選手権大会

沖縄（男子）京都（女子）が初優勝

第30回全日本教職員選手権大会は、8月8日から13日まで、男子54、女子12チームが参加して京都府田辺市で開催された。

男子は、三連覇を狙う栃の葉クラブ（栃木）と国体を控え強化に励んだ沖縄教員の対決となり、練習量に勝る沖縄が、後半一気に栃の葉を振り切って初優勝を飾った。

一方女子は、やはり三連覇を賭けた愛知教員女子に対し、地元・京都が挑戦、昨年と同じ決勝の顔合せとなったが、京都が見事雪辱を果たし、初優勝を飾った。

男子

1回戦

香川教員 27 (14－7, 13－15) 22 広島県教職員

〔戦評〕前半広島が、米田、久保田のジャンプ、カットインで主導権を奪った。香川も渡辺、久保のジャンプ、速攻で反撃、しかし、GK三谷の好守でリードを守り15－13と広島リードで折り返した。

後半に入って、動きの鈍くなった広島を香川がとらえ、逆転に成功、一気にリードを奪った。その後広島の反撃をGK溝内の好守で押さえた。（吉田）

〔広島〕	得		〔香川〕	得
三谷	0	GK	溝内	0
久保	0	GK		
米田	4	FP	久保	4
工藤	0	FP	亀井	5
山本	6	FP	渡辺	6
万代	1	FP	泉谷	5
上村	0	FP	谷口	3
高	8	FP	川端	0
河野	1	FP	竹本	1
池田	2	FP	西山	0
長谷	0	FP	真島	2
福岡	0	FP	杉山	1
(0)	22	PT	(2)	27

（審・福井、堀内）

岡山教員 28 (18－9, 10－10) 19 ATF（愛知）

〔戦評〕岡山の先手で試合が始まったが、すぐにATFも同点とし以後岡山の速攻、ATFのセットでの得点で一進一退で前半を終了。

後半6分、岡山は連続4得点する。その後も早い展開から攻撃をしかけるがミスが多く、ATFのセットでの得点を許す。12分、中山の連続3点の速攻、続いて佐藤の2本の速攻の得点でリズムに乗り、9点差で逃げ切る。（福井）

〔ATF〕	得		〔岡山〕	得
荒川	0	GK	板野清	0
水藤	0	GK		
角	0	FP	板野守	4
浅田	4	FP	中山	6
薮野	0	FP	上野	6
西川	4	FP	丸川	1
冨田	1	FP	赤木	1
斉藤	3	FP	西田	2
川口	3	FP	大塚	3
荒木	1	FP	荒井	2
飼沼	2	FP	佐藤	3
鈴木	1	FP		
(2)	19	PT	(4)	28

（審・吉田、村尾）

滋賀教員 24 (4－1, 1－0, 9－12, 10－7) 20 埼玉フェニックス

〔戦評〕開始間もなく、滋賀は井上の巧技などで連続得点をあげ、そのまま独走かと思われた。しかし、埼玉は滋賀DFの足が止まるのを見て、ポスト、ブラインドミドルなどで着実に加点し、一進一退の混戦となった。

延長に入って、再び井上の連取でリードした滋賀は、疲れの見えた埼玉を振り切った。（村尾）

〔埼玉〕	得		〔滋賀〕	得
阿部	0	GK	松山	0
飯島	2	FP	位田	1
田村	3	FP	伊藤	3
飯野	0	FP	能波	3
宮沢	4	FP	井上	11
山下	1	FP	武田	3
松浦	5	FP	大野	0
土屋	3	FP	橋山	0
小林	1	FP	大橋	2
仲尾	1	FP	林田	0
(1)	20	PT	(3)	23

（審・堀田、福井）

大阪教員 31 (13－12, 18－12) 24 福岡教員

〔戦評〕立ち上がりから大阪が優位に試合を進める。福岡も2点差までつめるが、結局6点差で前半を終える。

後半に入ると福岡が追い上げるが、大阪が前半のリードを守って逃げ切った。（丸谷）

〔福岡〕	得		〔大阪B〕	得
七条	0	GK	高橋	0
水上	0	GK		
春本	0	FP	尾崎	5
野田	9	FP	裕	6
藤田	5	FP	前出	1
坂本	2	FP	佐々木	7
稲永	1	FP	高原	0
沖西	2	FP	小池	3
白木	4	FP	正田	9
古賀	0	FP	狩野	0
前田	1	FP		
(2)	24	PT	(4)	31

（審・秋永、清水）

茨苑クラブ（茨城） 43 (23－3, 20－8) 11 新潟教員

〔戦評〕茨苑クラブは、前・後半通して速攻、ポストプレーから得点を重ねたのに対し、新潟はサイドシュートで対抗した。

両チーム共にパスミス、ノーマークシュートミスが目立ったが、若さで茨苑クラブが走り勝った。（清水）

	〔新潟〕	得
GK	成田	0
FP	石田	0
	加藤	1
	春日	0
	藤崎	1
	寺崎	1
	黒川	3
	小林	0
	若月	3
	長谷川	2
PT	(0)	11

（審・丸谷　奥田）

	〔茨苑〕	得
GK	雨谷	0
	本多	0
FP	福田弘	6
	高野	2
	浜野	4
	黒岩	10
	福田理	2
	松信	2
	北村	3
	緑川	6
	久保田	6
	富永	2
PT	(2)	43

わかくさク（奈良） 37 〔19－8, 18－7〕 15 静岡教員団

〔戦評〕速攻で得点を重ねるわかくさクラブに対し、静岡はセットからステップシュートで対抗する展開となった。静岡は随所にベテランらしいプレーを見せ、得点しようとするが、わかくさクは終始速攻の手をゆるめず大勝した。（奥田）

	〔静岡〕	得
GK	原	0
FP	入山	4
	井上	3
	寺田	5
	飛田	0
	坪井	1
	細中	2
	山本	0
PT	(2)	15

（審・清水　秋永）

	〔わかくさ〕	得
GK	柿木	0
	小野	0
FP	佐々木	5
	増田	9
	矢野	1
	小林	6
	上田	4
	金丸	6
	村田	1
	菅沼	0
	谷	2
	田中	3
PT	(4)	37

山口県教員団A 34 〔17－10, 17－10〕 20 富山教職員B

〔戦評〕前半15分まで山口は角のミドルシュート、飯島のロングシュートに対する富山は、横島のステップシュート、ポスト攻撃で得点し互角に戦うが、15分過ぎから山口は富山のパスミス、シュートミスからの速攻、角のミドルシュートで加点し、試合が決定した。（福井）

	〔富山〕	得
GK	瀬川	0
FP	柳原	0
	竹内	2
	大房	7
	横島	5
	大石	3
	城川	0
	細下	0
	広田	0
	藤井	3
PT	(4)	20

（審・辻　茨木）

	〔山口〕	得
GK	吉村	0
	加藤	0
FP	岡村	0
	河村	2
	吉兼	6
	角	10
	片山	0
	原井	1
	中村	11
	飯島	2
	山崎	1
	山野	1
PT	(1)	34

オールドイーグルスA（大阪） 22 〔12－8, 10－3〕 11 三重教員

〔戦評〕オールドイーグルスの老巧な試合運び、要所要所に個人プレーを中心に得点を加える。一方若い三重は、自分たちのプレーが今一つ出来ずミスが目立つ。加えてシュートチャンスにもGK本多の好キーピングにより得点が出来ず、10－3で前半を終了。

後半、三重のスピードあるプレーで追い上げが期待されたが、ゲームの流れを変えるまでに至らず22－11でオールドイーグルスが勝利を得る。（辻）

	〔三重〕	得
GK	松井	0
FP	細川	6
	仲井	2
	田中	1
	三谷	0
	片山	1
	藪内	0
	谷口	0
	丸山	0
	近藤	1
PT	(2)	11

（審・林　田中）

	〔オールド〕	得
GK	本田	0
	広川	0
FP	井上	2
	北岡	0
	福井	3
	早川	2
	河原崎	0
	安達	2
	池本	7
	高橋	6
	足村	0
PT	(1)	22

埼玉教員ク 27 〔16－10, 11－7〕 17 長野教員

〔戦評〕埼玉クの先行で前半が始まるが、埼玉は速攻をまじえ、カットイン、ポストとバランス良く得点する。一方、長野も速攻をかけるが、埼玉のディフェンスを崩す事が出来ず終る。

後半5分間、両チーム共よく走るが、その後長野がセット攻撃に変わり、埼玉は速攻を主にゲームを決定する。（田中）

	〔長野〕	得
GK	北島	0
FP	竹内	0
	塩川	4
	矢島	7
	行田	2
	中条	0
	小口	0
	小山	0
	岩下	2
	島谷越	2
	若林	0
PT	(2)	17

（審・福井　兼田）

	〔埼玉〕	得
GK	大崎	0
FP	山口	2
	田中	3
	伊藤	7
	池田	3
	青柳	3
	渡辺	3
	近藤	2
	山中	1
	綿引	3
	谷井	0
PT	(2)	27

千葉教員 30 〔16－12, 14－8〕 20 岩手教員

〔戦評〕前半、スタートは一進一退をくり返していたが、千葉教員が堅い守りから速攻でペースをつかみ、着々と加点、前半は14－8と千葉リードのまま終了。

後半、千葉・仲田のロング2連発でペースをつかみ、速攻、サイド、ポストとむらなく得点、後半15分大勢決する。岩手も試合をあきらめず猛追するが、終了間際に千葉に速攻を3連発決められ万事休すであった。（兼田）

	〔岩手〕	得
GK	藤原	0
FP	菊地	7
	佐藤	1
	谷藤	1
	鈴木	1
	山本	2
	平野	4
	川村	4
PT	(1)	20

（審・辻　茨木）

	〔千葉〕	得
GK	塩原	0
FP	山上	3
	仲村	7
	仲田	8
	石川	0
	寺田	1
	大鐘	3
	飯名	3
	加藤	3
	安井	1
	浅原	1
PT	(2)	30

愛知教員A 26 〔15－8, 11－9〕 17 熊本教員ク

〔戦評〕立ち上がり両チーム共ミスが多く、熊本がポストプレーを中心に得点を重ねるが、中盤より愛知が速攻により得点を重ね、前半を11－9とリード。後半、愛知のミスにより熊本が速攻で連続2点を入れ同点となるが、中盤より愛知が徐々に速攻で得点を重ねリードを広げて終了。（中川）

	〔熊本〕	得
GK	中野	0
	金子	0
FP	田中	1
	宮田	2
	野口	4
	戝満	3
	北島	3
	福島	0
	宮瀬	0
	川西	4
PT	(2)	17

（審・上野　中島）

	〔愛知A〕	得
GK	本地	0
FP	下山	0
	細井	4
	近藤	1
	岩田	3
	浅井	6
	尾崎	1
	黒田	5
	徳永	4
	中野	2
PT	(1)	26

富山教職員A 19（12－9、7－8）17 イガヤクラブ（愛知）

〔戦評〕前半から個人プレーに勝る富山教員Aが終始リードを保ちながら試合が進んだが、後半15分過ぎから少しずつ差を広げていたが、全体に富山のノーマークシュートのミスが多く、自分から展開を苦しくしていた。それに比べ、イガヤクラブはミスが少なく、イガヤの善戦が目立った。（上野）

	〔イガヤ〕	得
GK	土屋	0
FP	藤沢	1
	天神	1
	佐藤	4
	森彰	2
	森岳	2
	杉浦	2
	鵜飼	2
	淡路	3
	計	17
PT		(3)

	〔富山〕	得
GK	須波	0
FP	小嶋	4
	栗山	7
	坂口	0
	金原	1
	裏	0
	東瀬	2
	沢井	2
	中浦	2
	秀永	1
	越前	0
	計	19
PT		(2)

〔審・中川　柴田〕

大阪ハンターズ 31（15－12、16－14）26 山口教員

〔戦評〕前半、山口の速攻に対し大阪は粘りある遅攻で着実に加点し大阪がやや優勢に展開。後半に入り、立ち上がり大阪が速攻などで連続得点し、点差を広げる。双方共ややスタミナ切れから雑なプレーが目立ったが、最後大阪が逃げ切った。（柴田）

	〔山口〕	得
GK	野村	0
	古谷	0
FP	坂本	4
	赤地	3
	山根	5
	吉本	4
	重宗	3
	長井	3
	斉藤	3
	古富	1
	計	26
PT		(2)

	〔ハンター〕	得
GK	池本	0
FP	中村	8
	谷口	9
	荒川	0
	大山	6
	藤井	1
	中出	1
	川原	1
	太田	3
	佐谷	2
	計	31
PT		(3)

〔審・中島　上野〕

佐賀教員 31（17－6、14－5）11 和歌山クラブ

〔戦評〕チームの特色が似通ったチーム同士の対戦で最初は一進一退をくり返したが、8分過ぎPTを得た佐賀がペースをつかみ、速攻で点差を広げ、一方的な試合展開となった。後半もそのまま佐賀ペースで終了した。両チームのスタミナと速攻の違いが明暗を分けた試合であった。（中島）

	〔和歌山〕	得
GK	横山	0
FP	中川	4
	山本	3
	中野	1
	明渡	1
	寺角	1
	吉田	1
	山形	0
	福田	0
	山東	0
	藤範	0
	計	11
PT		(0)

	〔佐賀〕	得
GK	谷崎	1
	田中	0
FP	中山	6
	柳本	6
	境	5
	小松	6
	久保田	0
	松隈	3
	西山	1
	礒口	3
	計	31
PT		(4)

〔審・中川　柴田〕

福井教員 23（12－11、11－9）20 東京教員

〔戦評〕前半5分、福井は固いディフェンスから速攻をくり出し、5－1とリード、その後東京も盛り返し、前半を12－11で折り返す。後半も一進一退の攻防が続き、ラスト2分で福井がようやく2点リードし、東京をふり切った。（中村）

	〔東京〕	得
GK	橋本	0
	川幡	0
FP	上野	2
	岩尾	3
	村崎	2
	大東	2
	松本	1
	田代	0
	小川	7
	曽我	0
	梅田	3
	浜田	0
	計	20
PT		(3)

	〔福井〕	得
GK	柴田	0
	川村	0
FP	土橋	2
	竹野	5
	田安	0
	加納	0
	小林邦	0
	五十嵐	3
	中屋	4
	半田	2
	小林寛	6
	谷口	1
	計	23
PT		(5)

〔審・北山　大原〕

静岡県教員団 29（14－9、15－12）21 ロイヤルスワロー（兵庫）

〔戦評〕前半、若い静岡とロイヤルスワローのベテラン畑、松岡などの活躍により互角の試合運びとなったが、5点差で終了した。後半、静岡は早いパスワークからのカットインプレーで加点、疲れのでたスワローのシュートミスから速攻で点差を広げた。（北山）

	〔ロイヤル〕	得
GK	馬場	0
FP	畑	4
	松岡	6
	阪本	3
	小林	0
	保田	2
	森本	2
	中岸	3
	川崎	1
	田中	0
	計	21
PT		(4)

	〔静岡〕	得
GK	能勢	0
	鈴木	0
FP	大石	1
	石川	7
	細沢	2
	菊地	3
	小野	4
	小林	9
	高橋	3
	計	29
PT		(4)

〔審・丹田　中村〕

愛媛教員A 21（10－8、11－12）20 愛知教員B

〔戦評〕前半は、両チーム共速いボール廻しと速攻とで一進一退をくり返し、10－8で愛媛がリードして折り返した。後半も1点を争う好ゲームとなり、残り3分でリードした愛媛が辛くも逃げ切った。（丹田）

	〔愛知B〕	得
GK	渡辺	0
	川合	0
FP	村上	3
	松本	3
	細川	2
	井上	3
	楓	0
	早川	5
	三輪	0
	高須	4
	伊藤	0
	木村	0
	計	20
PT		(1)

	〔愛媛〕	得
GK	中村	0
	武智	0
FP	田中	9
	定岡	1
	金子	2
	東福	4
	村上	0
	石川	0
	川田	2
	高橋	1
	山川	0
	上野	2
	計	21
PT		(2)

〔審・北山　大原〕

北海道教員 25（10－9、9－10、2－1、4－1）21 大阪教員クラブA

〔戦評〕両チームよく走り、大阪Aが先行していったが、北海道は三浦のロングを中心に追い上げ、北海道の1点リードで前半を終了。後半に入り、大阪は北海道・三浦をマンツーマンの戦法が功を奏し追いつき延長となる。延長に入り大阪・平井のPTで先行するが、

	〔大阪A〕	得
GK	伊藤	0
FP	石橋	1
	浦	5
	小野	0
	竹内	2
	翁長	3
	太田	1
	天野	4
	平井	5
	計	21
PT		(4)

	〔北海道〕	得
GK	松沢	0
	柿沼	0
FP	棚橋	3
	大橋	3
	田村	3
	米内山	3
	中村	1
	高田	4
	三浦	7
	計	25
PT		(2)

〔審・丹田　中村〕

一進一退、後半に北海道・高田がサイド、速攻と連取し逃げ切った。（大原）

若潮ナッツ（千葉） 26 〔9－9 10－10 2－3 5－1〕 23 岡山桃太郎クラブ

〔戦評〕両チーム共エリアライン際での細かいプレーで主に得点。はじめ岡山の方が走力で勝るように思われたが、若潮も徐々に調子をあげて来た。後半、ずっとシーソーゲームが続き、結局延長戦となる。ここに来て岡山のパスミスが目立ち、そこからの速攻により若潮の勝利となった。（山本）

得	〔若潮〕		〔桃太郎〕	得
0	加藤	GK	藤井	0
4	釜谷	FP	山本	7
6	増田		中川	1
4	内記		三村	0
2	八重盛		奥山	1
3	松原		徳田	2
2	柴田		竹内	5
0	前島		三宅	0
1	鶴岡		信原	1
1	大村		奥川	2
			内藤	4
26	(5)	PT	(3)	23

（審・吉田 田中）

宮城教員 35 〔19－13 16－10〕 23 大分教員

〔戦評〕前半、両チーム共セット攻撃が決まらず10分まで大分のリードで進んだが、12分に同点、宮城の速攻が決まり始め、16－10で前半を終る。後半14分、通り雨で一時試合を中断、再開後、スピードに勝る宮城がゲームを決めた。（吉田）

得	〔宮城〕		〔大分〕	得
0	春名	GK	大塚	0
0	花渕			
4	佐々木	FP	那賀	7
0	伊藤		高橋	3
5	三井		上杉	3
1	簡野		薬師寺	4
8	菅原		徳重	3
0	菊地		有馬	1
1	佐々木		小川	2
9	尾形			
6	石川			
1	下村			
35	(2)	PT	(2)	23

（審・浅井 山本）

石川教職員団 35 〔19－14 16－11〕 25 岡山白桃クラブ

〔戦評〕岡山白桃のパスミス、シュートミスが目立ち、それを逃がさず速攻に結びつけた石川が、終始リードを奪って試合を終えた。（山本）

得	〔石川〕		〔白桃〕	得
0	小幡	GK	松本	0
0	亀田			
12	真田	FP	中尾	0
3	園下		森安	3
4	中田		片山	5
7	古橋		大島	0
0	田村		松岡	4
3	酒井		中谷	1
2	浜野		青野	6
1	高田		守安	4
1	中村		船越	2
2	阿部羅			
35	(0)	PT	(0)	25

（審・古田 田中）

神奈川教員 32 〔18－12 14－8〕 20 三重教員B

〔戦評〕三重の得点でスタートしたが、神奈川が速攻で着実に得点した。後半に入り、三重はシュートチャンスを何回もつぶし、神奈川はさらに加点していった。（不明）

得	〔神奈川〕		〔三重B〕	得
0	井上	GK	神谷	0
0	宮沢			
2	黒沢	FP	川畑	8
2	本田		夏目	3
5	鈴木		松ヶ谷	0
2	小池		守尾野	3
2	釜田		坂本	0
1	市原		山内	0
8	千葉		中森	2
1	吉岡		西村	0
3	五反田		梶川	4
6	生沢			
32	(4)	PT	(2)	20

（審・浅井 山本）

2回戦

栃の葉ク（栃木） 36 〔18－7 18－11〕 18 香川教員

〔戦評〕総合力に勝る栃の葉だがパスミス、シュートミスを重ねる。そのミスをつき、香川はポスト、サイド、速攻で反撃、前半を18－11で終了。後半に入ると、栃の葉が一気にスパート、後半10分で30－13とし勝負が決する。（秋永）

得	〔栃の葉〕		〔香川〕	得
0	岩下	GK	溝内	0
6	山下	FP	久保	2
5	武井		亀井	5
3	溝井		渡辺	1
4	岸		泉谷	5
11	滝口		谷口	3
2	小西		川端	0
1	大出		竹本	0
1	中山		西山	2
0	山本		真島	0
3	川畑		杉山	0
36	(2)	PT	(3)	18

（審・奥田 丸谷）

滋賀教員 31 〔17－11 14－12〕 23 岡山教員

〔戦評〕前半は両チーム共に持ち味を生かし好ゲームを展開、14－12で滋賀が2点差をつけて終了。後半に入るや滋賀はコンビプレーが冴え、岡山を一気に突き放す。後半15分には10点差に広げ勝ちを決定づけた。（秋永）

得	〔滋賀〕		〔岡山〕	得
0	松山	GK	板野清	0
0	位田	FP	板野守	2
6	伊藤		中山	6
8	能波		上野	5
8	井上		丸川	3
4	武田		赤木	1
3	大野		西田	0
0	橋山		大塚	3
1	大橋		荒井	3
1	林田		佐藤	0
31	(3)	PT	(0)	23

（審・福井 堀田）

茨苑ク 22 〔13－9 9－9〕 18 大阪教員B

〔戦評〕前半、大阪は速い展開から攻撃するもミスが多く得点に結びつかず、茨苑は富永を中心にポスト、ロングと攻撃、得点する。大阪も離されず、前半同点で後半勝負となる。後半に入るや、茨苑のセットからの得点で着々と加点、大阪は速攻ミスも手伝い力尽きた。（堀田）

得	〔茨苑〕		〔大阪B〕	得
0	雨谷	GK	高橋	0
0	本多			
4	福田弘	FP	尾崎	1
2	高野		裕	5
1	黒岩		前出	1
1	福田理		佐々木	3
4	松信		高原	1
2	北村		小池	5
3	緑川		正田	1
0	久保田		狩野	1
4	富永			
0	糸賀			
22	(2)	PT	(1)	18

（審・奥田 丸谷）

わかくさク 33 〔17−10 16−9〕 19 福島ク

〔戦評〕開始早々に速攻で先取したわかくさクが5連続得点のスタートを切った。これに対し福島はセットからの攻撃とポストプレーで応戦する。前半17−10でわかくさクのリード。後半少しダレ気味のところはあったが、まずはわかくさクの圧勝。しかし、福島クも最後まで善戦した。（福井）

〔福島〕	得		〔わかくさ〕	得
福島	0	GK	小野	0
斉藤	3	FP	佐々木	0
佐藤	0		増田	7
小沼	7		矢野	0
三浦	1		小林	5
田川	5		上田	3
根本	3		金丸	8
			村田	5
			菅沼	0
			谷	5
			田中	0
19	(2)	PT	33	(1)

〔審・秋永 清水〕

山口県教員団A 28 〔13−6 15−12〕 18 宮崎教員

〔戦評〕前半、山口は速攻、ミドルで着実に加点、対する宮崎はシュートミスが目立ち、プレー全体が雑になって13−6と山口リードで折り返した。後半は両チーム共互角に運び好ゲームとなったが、前半の得点差が最後まで響いた。（丹田）

〔宮崎〕	得		〔山口A〕	得
石原	0	GK	吉村	0
押川幸	2		加藤	0
渡辺	4	FP	岡村	5
伊藤	1		河村	1
富永	3		吉兼	1
戸高	1		角	7
押川啓	3		片山	1
曽原	0		原井	1
船木	4		中村	5
			飯島	2
			山野	2
			村田	3
18	(2)	PT	28	(2)

〔審・茨木 辻〕

埼玉教員 39 〔18−4 21−7〕 11 オールドイーグルス

〔戦評〕テクニックに優れるオールドイーグルスと若い埼玉との試合は、最初両チーム共ラフプレーも見られたが、圧倒的に走力に勝る埼玉の一方的な試合であった。（中村）

〔オールド〕	得		〔埼玉〕	得
本田	0	GK	大崎	0
広川	0		山口	0
井上	1	FP	田中	6
北岡	0		伊藤	9
福井	4		池田	3
早川	3		青柳	4
河原崎	2		渡辺	2
安達	0		近藤	5
池本	1		山中	2
高橋	0		綿引	8
奥浜	0			
11	(0)	PT	39	(2)

〔審・田中 林〕

スワロー兵庫 23 〔13−6 10−11〕 17 千葉教員

〔戦評〕前半、立ち上がりから一進一退をくり返すが、千葉がポストプレーでゆさぶるが、ミスが続き、スワロー兵庫にハーフ速攻に持ち込まれ13−6で終る。後半、千葉もよく走り、セット、速攻共に互角の展開となるが、前半の差が大きく、つめることが出来なかった。（田中）

〔千葉〕	得		〔兵庫〕	得
塩原	0	GK	近藤	0
山上	0		狩野	0
仲村	2	FP	浜田	1
仲田	7		工藤	1
石川	0		大西	7
寺田	0		船脇	0
大鐘	4		竹内	1
飯名	1		岡辺	4
加藤	0		西園	0
安井	2		今井	3
浅原	1		堀尾	0
			寺口	6
17	(2)	PT	23	(1)

〔審・茨木 辻〕

あかぎク（群馬） 17 〔10−8 7−8〕 16 愛知教員A

〔戦評〕前半20分は、両チーム共セット、カットインのみの勝負であり、一進一退をくり返した。残り5分で群馬の速攻が決まりだし、10−8と群馬のリードで折り返した。

後半も同じような展開でゲームが進行し、群馬はPTなどを着実に決め、1点差で辛くも逃げ切った。（丹田）

〔愛知A〕	得		〔あかぎ〕	得
本地	0	GK	譲原	0
下山	3		野口	0
細井	1	FP	桜井	1
近藤	0		越石	0
岩田	0		今井	4
浅井	4		長谷川	1
尾崎	0		岡田	6
黒田	2		栗田	1
徳永	2		新井	4
中野	4		渡根木	0
			小金沢	0
16	(0)	PT	17	(2)

〔審・田中 林〕

沖縄教員 22 〔9−5 13−8〕 13 富山教職員A

〔戦評〕前半、互角の戦いで終り後半、国体前で練習量豊富な沖縄が富山に圧勝する。（中川）

〔富山A〕	得		〔沖縄〕	得
須波	0	GK	新垣泰	0
小嶋	3		高良靖	0
栗山	3	FP	黒島	3
坂口	0		松田	1
金原	0		名嘉	2
裏	0		新垣志	0
東瀬	0		宮城	2
沢井	2		内原	4
中浦	1		新里	0
秀永	0		喜舎場	2
越前	4		東江	5
			高良茂	3
13	(1)	PT	22	(3)

〔審・山本 浅井〕

埼玉バッカス 27 〔12−5 15−11〕 16 大阪ハンターズ

〔戦評〕前半中頃まで双方共スローペースで相手の出方を見るが、残り10分あたりより埼玉が速攻で勝負をかけ大差で折り返す。後半、スタミナの切れた大阪の単調な攻めに対し、埼玉の堅実なディフェンスと多彩な攻めで勝負がついた。（柴田）

〔ハンター〕	得		〔バッカス〕	得
池本	0	GK	牧田	0
中村	2	FP	稲村	1
谷口	5		谷本	3
荒川	0		寿川	8
大山	4		井川	5
藤井	0		吉田	4
中出	1		石塚	4
川原	3		久保	2
太田	0			
佐谷	1			
16	(1)	PT	27	(1)

〔審・田中 吉田〕

岐阜教員 17 〔8−8 9−6〕 14 佐賀教員 葉隠

〔戦評〕前半すべり出し、加藤のジャンプシュート、速攻などで一気に4連取した岐阜が主導権を握った。しかし、佐賀も小松、境の

ミドルで反撃、同点に追いついた。前半を8−8で折り返し、後半に入っても一進一退をくり返したがラスト4分から加藤がミドルで決勝点を奪い、接戦にケリをつけた。（吉田）

〔佐賀〕	得		〔岐阜〕	得
谷崎	0	GK	野田	0
田中	0	GK	田中	0
中山	0	FP	名倉	1
柳本	1	FP	加藤隆	1
境	3	FP	原	0
小松	6	FP	牧野	0
久保田	0	FP	加藤元	4
松隈	1	FP	鈴木	1
西山	0	FP	西尾	2
礒口	3	FP	高橋	1
		FP	奥村	0
		FP	飯島	0
14	(5)	PT	(1)	17

（審・丹田・中村）

静岡県教員団 30 〔19−8、11−13〕 21 福井教員

〔戦評〕両チーム共スピード感があまりなく、前半シュートミスが目立つ。福井13−11静岡で前半を終了する。後半に入り、福井の攻撃にミスが多くなり、それを静岡が速攻でポイントを追加して勝つ。（田中）

〔福井〕	得		〔静岡〕	得
柴田	0	GK	能勢	0
川村	0	GK	鈴木	0
上橋	1	FP	大石	3
竹野	5	FP	石川	5
田安	0	FP	細沢	1
小林	1	FP	菊地	8
五十嵐	5	FP	小野	5
中屋	2	FP	小林	8
半田	3	FP	高橋	0
加納	0	FP		
谷口	2	FP		
細川	2	FP		
21	(3)	PT	(3)	30

（審・中川・柴田）

京都教員 31 〔16−5、15−3〕 8 愛媛教員

〔戦評〕最初、多少の堅さの見られた京都であったが、ポストをつかみ、それを利用した攻撃からペースをつかみ、速攻が出るようになった。愛媛はなんとか京都の高いディフェンスを打ち破ろうとしたのだが、なかなか得点に結びつけることができなかった。愛媛はつめの早いディフェンスで対抗しようとしたが、京都の早い攻撃を止めることができず、一方的な展開となった。（中島）

〔愛媛〕	得		〔京都〕	得
中村	0	GK	山下	0
武智	0	GK	宇佐見	0
田中	2	FP	国府	5
定岡	2	FP	佐久間	1
金子	1	FP	楠木	6
東福	2	FP	杉山	1
石川	0	FP	池辺	5
川田	0	FP	西田	3
高橋	0	FP	西村	3
山川	0	FP	大島	1
関谷	0	FP	酒井	2
毛利	1	FP	清水	4
8	(3)	PT	(5)	31

（審・吉田・村尾）

若潮ナッツ 30 〔12−12、18−13〕 25 北海道教員

〔戦評〕北海道は、大橋、高田の連続速攻で3点のリード。対する若潮ナッツも八重のサイドで反撃ローリングから内記のステップ、釜谷のカットインで着々と加点、一気に逆転に成功。前半を18−13で折り返した。後半に入っても徐々に差を広げた若潮ナッツが31−24で勝利を奪った。（吉田）

〔北海道〕	得		〔若潮〕	得
松沢	0	GK	加藤	0
柿沼	0	GK		
棚橋	2	FP	釜谷	9
加藤	2	FP	増田	2
大橋	4	FP	内記	5
田村	0	FP	八重盛	6
米内山	4	FP	松原	3
中村	2	FP	柴田	2
高田	4	FP	前島	1
三浦	7	FP	鶴岡	2
		FP	大村	0
25	(3)	PT	(3)	30

（審・北山・大原）

宮崎教員 30 〔15−14、15−11〕 25 石川県教職員団

〔戦評〕お互いに似通ったチーム同士の対戦で、一進一退をくり返したが、前半終了近く、宮城が3点連取し15−11と差を広げ前半を終了した。後半入っても点差は縮まらず、一進一退がそのまま続いたが、石川のスタミナ切れのシュートミスに乗じ、宮城は速攻で着実に得点した。（中島）

〔石川〕	得		〔宮城〕	得
小幡	0	GK	春名	0
亀田	0	GK	高橋	0
真田	6	FP	佐々木正	6
園下	1	FP	伊藤	1
中田一	3	FP	三井	2
中田裕	1	FP	簡野	0
古橋	5	FP	菅原	5
八十山	0	FP	菊地	0
田村	1	FP	佐々木弘	2
酒井	8	FP	尾形	8
高田	0	FP	石川	5
中村	0	FP	下村	1
25	(0)	PT	(2)	30

（審・浅井・山本）

大阪イーグルス 32 〔19−6、13−9〕 15 神奈川教員

〔戦評〕前半、両チーム共早いテンポのパスワークから一進一退を続けた。後半に入り、神奈川のシュート、パスミスに乗じ連続6得点で突き放した。イーグルスのポストプレーと速攻に神奈川はどうすることもできなかった。（北山）

〔神奈川〕	得		〔イーグルス〕	得
井上	0	GK		
宮沢	0	GK	太田	1
鶴留	0	FP	勝本	1
黒沢	4	FP	源野	3
鈴木	2	FP	成願	5
小池	0	FP	大西	3
釜田	0	FP	三谷	4
市原	0	FP	厚ヶ瀬	0
千葉	1	FP	小岩	4
吉岡	1	FP	岩本	2
五反田	1	FP	辻本	8
生沢	6	FP	杉尾	1
15	(0)	PT	(0)	32

（審・大原・中島）

3回戦

栃の葉ク 31 〔17−11、14−12〕 23 滋賀教員

〔戦評〕前半、栃の葉クラブが速攻、ミドルを中心にゲームを優位に進めるが、12分滋賀もサイド、速攻と反撃して同点とするが、栃の葉クラブ・武井のロングシュートがよく決まり、14−12で終る。後半5分、滋賀も反撃し同点とな

〔滋賀〕	得		〔栃の葉〕	得
松下	0	GK	岩下	0
		GK	高橋	0
位田	4	FP	山下	3
伊藤	4	FP	杉浦	0
能波	3	FP	新開	1
井上	8	FP	武井	11
武田	3	FP	薄井	1
大野	0	FP	岸	3
橋山	0	FP	滝口	4
大橋	1	FP	小西	3
林田	0	FP	中山	2
		FP	川田	3
23	(2)	PT	(0)	31

（審・酒井・島田）

るが、ここでも栃の葉の武井がロング、カットインで突き放す。一方滋賀は5分から15分まで1点しか加点できないままの展開。残り10分で武井にマンツーマンでつくが勝負はこの時点で決定的であった。（田中）

わかくさ23〔12－4, 11－10〕14茨苑ク

〔戦評〕前半、立ち上がりからわかくさクラブが小林、金丸らのシュートでリードし、茨苑クラブの緑川らのシュートも単発に決まるだけで、前半をわかくさクラブが12－4とリード。後半の相手ミスからの速攻などで着々と得点を重ね、必死に健闘する茨苑クラブに23－14で勝利を得た。（酒井）

	〔茨苑〕	得	〔わかくさ〕	得
GK	雨谷	0	小野	0
GK	本多	0		
FP	福田弘	2	佐々木	0
FP	高野	1	増田	2
FP	黒岩	1	矢野	0
FP	福田理	3	小林	5
FP	松信	0	上田	0
FP	北村	1	金丸	8
FP	緑川	3	村田	5
FP	久保田	0	菅沼	1
FP	富永	3	谷	0
FP	今井	0	田中	2
PT	(0)	14	(1)	23

（審・林 田中）

山口県教員団A 27〔9－9, 10－10, 4－2, 4－3〕24埼玉教員ク

〔戦評〕山口は中村の速攻とサイド、角のロングを主とした個人技で、埼玉はセットでのチームプレーでそれぞれ得点、シーソーゲームをくり返す。

結局延長戦となり、ミスが出だした埼玉に対し、1点を確実に取っていった山口が延長戦で勝利を得た。（山本）

	〔埼玉〕	得	〔山口A〕	得
GK	大崎	0	吉村	0
GK			加藤	0
FP	山口	1	岡村	1
FP	田中	7	河村	0
FP	伊藤	3	吉兼	1
FP	池田	4	角	12
FP	青柳	1	片山	4
FP	渡辺	1	原井	2
FP	近藤	1	中村	7
FP	山中	1	飯島	0
FP	綿引	5	山崎	0
FP			和田	0
PT	(5)	24	(7)	27

（審・北山 大原）

あかぎク19〔10－8, 9－10〕18スワロー兵庫

〔戦評〕前半10分まで両チーム互角に戦うもあかぎクラブの堅実なディフェンスからの速攻などにより前半を終了。後半10分まであかぎペースで展開されたが、中頃からスワロー兵庫がリズムに乗り、残り4分同点に追いつくも1点差であかぎクラブが逃げ切った。（茨城）

	〔兵庫〕	得	〔あかぎ〕	得
GK	近藤	0	譲原	0
GK	狩野	0	野口	0
FP	浜田	2	桜井	2
FP	工藤	2	越石	0
FP	大西	1	斉藤	4
FP	船脇	0	今井	6
FP	竹内	2	長谷川	0
FP	岡辺	2	岡田	2
FP	西園	1	栗田	0
FP	今井	2	新井	3
FP	堀尾	3	寺山	1
FP	寺口	3	松本	1
PT	(2)	18	(2)	19

（審・奥田 丸谷）

沖縄教員25〔16－7, 9－7〕14埼玉バッカス

〔戦評〕前半は沖縄は速攻も主体とし、埼玉はセット攻撃を主体とした試合展開となり、16－7で沖縄がリードして折り返す。後半も着々とマイペースで得点を重ねた沖縄が25－14で勝利を収めた。（浅井）

	〔埼玉〕	得	〔沖縄〕	得
GK	牧田	0	新垣泰	0
GK			高良靖	0
FP	稲村	2	黒島	1
FP	谷本	1	松田	1
FP	寿川	3	名嘉	2
FP	井川	4	新垣志	0
FP	吉田	1	宮城	2
FP	石塚	1	内原	3
FP	久保	2	新里	0
FP			喜舎場	7
FP			東江	6
FP			高良茂	3
PT	(1)	14	(3)	25

（審・清水 秋永）

岐阜教員29〔14－8, 15－15〕23静岡県教員団

〔戦評〕お互いにミスが目立ちロースコアのゲーム展開になる。15分過ぎ、少し動きの止まった静岡の攻撃ミス（パス）から速攻につなぎ連続得点した岐阜が14－8のリードで前半を終了。後半、速攻を中心に加点、静岡も菊地、小林を中心に攻撃するが、岐阜GKの好キーピングもあり大差で勝利を得る。（辻）

	〔静岡〕	得	〔岐阜〕	得
GK	能勢	0	野田	0
GK			田中	0
FP	大石	3	名倉	5
FP	石川	3	加藤隆	2
FP	細沢	1	原	1
FP	菊地	6	牧野	2
FP	小野	6	加藤元	2
FP	小林	4	鈴木	1
FP	高橋	0	西尾	2
FP			高橋	9
FP			奥村	1
FP			飯島	4
PT	(2)	23	(1)	29

（審・福井 堀田）

京都教員ク32〔12－5, 20－9〕14若潮ナッツ

〔戦評〕前半開始早々より総合力に勝る京都が着実に加点、若潮ナッツは京都のディフェンスの高さに苦しみ、初得点が10分を過ぎてから。結局、前半12－5で終了。後半に入り、若潮ナッツはステップシュート、速攻で反撃するも10分まで。後は京都教員のスピードについていけず、結局32－14で終了。（秋永）

	〔若潮〕	得	〔京都〕	得
GK	加藤	0	山下	0
GK			宇佐見	0
FP	釜谷	2	国府	6
FP	増田	3	佐久間	5
FP	内記	0	楠本	5
FP	八重盛	4	杉山	4
FP	松原	2	池辺	3
FP	柴田	2	西田	2
FP	前島	1	西村	1
FP	鶴岡	0	越智	1
FP	大村	0	酒井	2
FP			清水	3
PT	(0)	14	(6)	32

（審・浅井 山本）

大阪イーグルス35〔18－6, 17－9〕15宮城教員

〔戦評〕立ち上がりからイーグルスはシュートカットからの速攻で得点を重ね、優位に立って試合を進める。宮城も逆速攻などで必死に食い下がろうとするが、パスミスもでてきてイーグルスの一方的な試合となった。（丸谷）

	〔宮城〕	得	〔イーグルス〕	得
GK	春名	0	太田	0
GK	花渕	0		
FP	佐々木正	2	勝本	1
FP	伊藤	0	源野	1
FP	三井	1	成願	2
FP	簡野	2	大西	3
FP	菅原	2	三谷	4
FP	菊地	0	厚ヶ瀬	7
FP	佐々木弘	2	小松	12
FP	尾形	2	岩本	0
FP	石川	4	辻本	8
FP	下村	0		
PT	(2)	15	(1)	35

（審・辻 茨木）

準々決勝

栃の葉ク 27 （15 12 ／ 11 8） 19 わかくさク

〔戦評〕わかくさは金丸、村田を中心に、栃の葉は武井を生かした前ブロックをかけての攻めで互いに許さず一進一退の展開。前半残り6分、わかくさのミスから速攻を決め栃の葉が抜け出し、12－8で終了。後半に入って、栃の葉・滝口も決め出し、加点していく。わかくさの金丸がマンツーマンされたが、何の手だてもなく工夫が必要であった。（林）

	〔わかくさ〕	得	〔栃の葉〕	得
GK	小野	0	岩下	0
GK			高橋	0
FP	佐々木	3	山下	5
FP	増田	0	武井	7
FP	矢野	0	薄井	2
FP	小林	2	岸	0
FP	上田	0	滝口	9
FP	金丸	7	小西	1
FP	村田	3	大出	1
FP	菅沼	0	中山	2
FP	谷	2	山本	0
FP	田中	2	川田	0
PT	(5)	19	(2)	27

（審・田中 吉田）

あかぎク 24 （12 12 ／ 12 10） 22 山口県教員団A

〔戦評〕前半、あかぎクラブはポストプレーで得点を重ねたのに対し、山口県教員団Aはミドルシュート、サイドシュートで対抗し、12－10とあかぎリードで終了。後半に入り、両チーム共にミスが続出し、互いに得点を重ねたが、僅かな差であかぎクラブが逃げ切った。（清水）

	〔山口A〕	得	〔あかぎ〕	得
GK	吉村	0	譲原	0
GK	加藤	0	野口	0
FP	岡村	0	桜井	2
FP	河村	0	越石	1
FP	吉兼	4	斉藤	4
FP	角	8	今井	6
FP	片山	5	長谷川	0
FP	原井	2	岡田	5
FP	中村	2	栗田	2
FP	飯島	1	新井	3
FP	山崎	0	寺山	0
FP	和田	0	小金沢	1
PT	(3)	22	(2)	24

（審・福井 堀田）

沖縄教員 33 （19 14 ／ 6 7） 13 岐阜教員

〔戦評〕双方共スピードある攻撃で始まったが、10分過ぎから沖縄は足を使った多彩な攻撃により前半14－7で折り返す。後半、単調な攻めの岐阜に対して、沖縄の走力は衰えず速攻で加点、大差で終了した。（茨木）

	〔岐阜〕	得	〔沖縄〕	得
GK	野田	0	新垣泰	0
GK	田中	0	高良靖	0
FP	名倉	0	黒島	4
FP	加藤隆	1	松田	3
FP	原	0	名嘉	2
FP	牧野	1	新垣志	0
FP	加藤元	2	宮城	4
FP	鈴木	0	内原	4
FP	西尾	0	新里	0
FP	高橋	6	喜舎場	4
FP	奥村	0	東江	7
FP	飯島	3	高良茂	5
PT	(0)	13	(1)	33

（審・丸谷 奥田）

大阪イーグルス 17 （9 8 ／ 5 11） 16 京都教員

〔戦評〕両チーム共ゲーム開始より気迫あふれるプレーを展開、京都は楠本、西村を中心にカットイン、サイドからのスカイプレー、大阪は辻本のスカイプレー、スピードある動きからのポストと一進一退の状態で11－9と2点差で京都がリードで後半に。

後半立ち上がり2本の速攻で追いついた大阪は、常に1点先取の展開で残り30秒、15秒と辻本の得点により勝利を得る。再三のシュートに対して好キーピングを見せた京都GKの活躍もゲームを盛り上げた。（辻）

	〔京都〕	得	〔イーグルス〕	得
GK	山下	0	太田	0
GK	宇佐見	0		
FP	国府	3	勝本	0
FP	佐久間	1	源野	2
FP	楠本	6	成願	3
FP	杉山	0	大西	1
FP	池辺	1	三谷	0
FP	西田	0	厚ヶ瀬	0
FP	西村	5	小岩	2
FP	大島	0	岩本	2
FP	酒井	0	辻本	7
FP	清水	0		
PT	(4)	16	(1)	17

（審・北山 大原）

準決勝

栃の葉ク 21 （11 10 ／ 6 11） 17 あかぎク

〔戦評〕静かな攻防のすべり出し、互いに譲らず得点し合う。10分過ぎ栃の葉が小西の速攻で逆転するが、あかぎも粘りを見せ前半終了間際岡田がステップシュートを決め、1点差で折り返す。

後半に入り、栃の葉が3連続得点で主導権を握る。その後、一進一退の展開であったが、あかぎは流れを最後まで変えることができず決勝進出はならなかった。（林）

	〔あかぎ〕	得	〔栃の葉〕	得
GK	譲原	0	岩下	0
GK	野口	0	高橋	0
FP	越谷	0	山下	0
FP	斉藤	2	杉浦	0
FP	今井	2	武井	6
FP	長谷川	0	薄井	3
FP	岡田	6	岸	1
FP	栗田	3	滝口	8
FP	新井	1	小西	2
FP	寺山	2	大出	0
FP	渡根木	0	中山	1
FP	小金沢	1	川田	0
PT	(1)	17	(2)	21

（審・福井 堀田）

沖縄教員 25 （13 12 ／ 12 7） 19 大阪イーグルス

〔戦評〕立ち上がりから両チーム早い動きの攻防を展開。沖縄が守って相手のシュートミスを速攻に

	〔イーグルス〕	得	〔沖縄〕	得
GK	太田	0	新垣泰	0
GK			高良靖	0
FP	勝本	0	黒島	2
FP	源野	6	名嘉	5
FP	成願	3	新垣志	0
FP	大西	3	宮城	1
FP	三谷	0	上原	0
FP	厚ヶ瀬	0	内原	0
FP	小松	3	新里	0
FP	岩本	3	喜舎場	3
FP	辻本	1	東江	8
FP	杉尾	0	高良茂	6
PT	(0)	19	(2)	25

（審・島田 酒井）

つなげて加点し、12−7で前半を終る。
　後半、沖縄はセットでも得点を加えていく。一方のイーグルスは脚力を生かし追いすがるが、前半の点差がつめられず涙を飲む。
　沖縄の東江、高良の活躍が目立った。（林）

3位決定戦

大阪イーグルス 22（15−10、7−12）22 あかぎク
3 PTC 1

〔戦評〕立ち上がり両チーム共スローペースで相手の出方を見るが、中頃から大阪イーグルスがリズムにのり、前半15−10と5点をリードして折り返す。
　後半に入り、あかぎクラブは堅実なディフェンスから速攻により加点、残り10分で同点に追いつく。その後一進一退の好ゲームの結果同点で終了。PTCの結果、3−1で大阪イーグルスが勝利を握った。（茨木）

〔あかぎ〕	得		得	〔イーグルス〕
譲原	0	GK	0	太田
野口	0		0	勝本
越石	0	FP	3	源野
斉藤	2		1	成願
今井	9		0	大西
長谷川	0		2	三谷
岡田	5		0	厚ヶ瀬
栗田	0		5	小松
新井	4		2	岩本
寺山	2		9	辻本
小金沢	0		0	杉尾
松本	0			
22	(3)	PT	(3)	22

（審・福井、堀田）

決勝

沖縄教員 32（15−11、17−12）23 栃の葉ク

〔戦評〕沖縄は、栃の葉クラブの武井、滝口の高さあるロングプレーを足を使った高い地点でのディフェンスで得点を最少限に食い止める。
　一方、攻撃では走りとばかりボールを持てば速攻、また速攻と動き、走りまわり、喜舎場、東江のステップシュート、カットインプレーをからませ得点した沖縄が32−23で勝利を得た。（辻）

〔栃の葉〕	得		得	〔沖縄〕
岩下	0	GK	0	新垣泰
高橋	0		0	高良靖
山下	6	FP	2	黒島
新開	6		4	名嘉
武井	4		4	新垣志
薄井	3		1	宮城
岸	0		0	上原
滝口	6		0	内原
小西	2		0	新里
中山	0		9	喜舎場
山本	0		11	東江
川田	2		1	高良茂
23	(1)	PT	(2)	32

（審・島田、酒井）

女子

1回戦

群馬教員 17（8−4、9−2）6 大阪コスモス

〔戦評〕前半立ち上がり両チーム共堅さが目立ち、相手ミスから得点につなぐだけの決め手しかなかった。残り10分まで群馬から3−2。その後群馬が徐々にペースをつかみ、8−4で前半を終了。後半、コスモスは相変らず自らのミスが目立ち、不正交替や退場が続きなかなか1点がとれない。群馬は鈴木のロングを中心に加点、結局17−6で勝利を飾った。（井上）

〔大阪〕	得		得	〔群馬〕
石井	0	GK	0	大工原
大谷広	0	FP	3	石坂
山西	0		1	鈴木真
西山	1		0	武田
幡田	1		0	横山
若宮	0		10	鈴木智
小西	2		3	荒瀬
船曳	1		0	大川
大谷千	0		0	井田
木下	0			
中村	1			
6	(0)	PT	(3)	17

（審・島田、酒井）

チェイサー（大阪）　不戦勝　宮崎教員

寝屋川ク（大阪）16（8−7、8−7）14 山口教員

〔戦評〕前半立ち上がり堅さが目立ち、両チーム共決め手を欠く。山口が速攻などで徐々にペースをつかむ。寝屋川も徐々に追いつき、名賀の速攻で逆転、前半8−7と寝屋川リード。後半、寝屋川は小森園の速攻、山口はセットプレスからの柳井のシュートとお互いに持ち味を生かした展開となる。結局、寝屋川が前半のリードを守り切った。（木村）

〔山口〕	得		得	〔寝屋川〕
柴田	0	GK	0	打田
岡崎	3	FP	4	林
豊永	1		0	吉田
柳井	4		1	永井
岩本	4		0	亀井
吉原	2		4	名賀
神田	0		6	小森園
河村	0		0	古本
吉岡	0		0	菊地
			1	津能
			0	中山
14	(2)	PT	(0)	16

（審・島田、酒井）

滋賀教員 19（8−5、11−12）17 栃の葉女子教職員（栃木）

〔戦評〕実力に勝る滋賀は、前半から速攻で得点を得ねた。栃の葉は安藤のポストシュートなどで互角に勝負したが、開始早々の得点差が縮まらない。
　後半に入り、栃の葉は大森のロングシュート、ステップシュートで1点差まで追いついたが、及ばなかった。（島田）

〔栃の葉〕	得		得	〔滋賀〕
慶野	0	GK	0	灰方
関口	0		0	中島
大森	4	FP	0	福川
秋山	0		0	大橋
平宇	1		1	尾村
安藤	3		0	吉原
鈴木	9		1	貫名
五十畑	0		3	田辺
			8	今井
			3	大橋
			1	草野
			2	藤本
17	(1)	PT	(3)	19

（審・木村、井上）

2回戦

愛知教員 22〔10－6／12－5〕11 群馬教員

〔戦評〕前半、ペースのつかみ合いで始まったが、15分過ぎた頃から愛知、大久保の速攻の連取で波に乗る。一方群馬は、愛知の好ディフェンスにはばまれ12－5で前半終了。後半、群馬も武田を中心に反撃にかかるが、前半に引き続きペースをつかんだ愛知がGK三宅の好キーピングからの速攻で点を重ねた。（井上）

〔群馬〕（審・福井 兼田）

	氏名	得
GK	大工原	0
FP	石坂	0
	鈴木真	1
	武田	2
	横山	0
	鈴木智	4
	荒瀬	2
	大川	2
	井田	0
PT	(1)	11

〔愛知〕

	氏名	得
GK	三宅	0
FP	尾崎	2
	天野	5
	鈴木	1
	武田	1
	二村	3
	富田	8
	大久保	0
	関	0
	木下	0
	杉浦	2
PT	(3)	22

神奈川教員 19〔10－10／9－7〕17 チェイサー

〔チェイサー〕（審・島田 酒井）

	氏名	得
GK	田中	0
	室谷	0
FP	一ノ木山	2
	塩見	2
	西川	3
	細見	4
	橋本	3
	竹内	0
	三木	0
	山下	3
PT	(0)	17

〔神奈川〕

	氏名	得
GK	大森	0
FP	山口	1
	加藤	4
	土屋	7
	野島	3
	稲田	0
	野見山	2
	大久保	1
	小池	1
PT	(1)	19

〔戦評〕前・後半通じてチェイサーは早いボールつなぎからサイドシュートで得点を重ねたのに対し神奈川はチェイサーのパスミス、ラインクロスなどのミスを着実に速攻に結びつけ勝利をものにした。（清水）

千葉ク 23〔12－8／11－9〕17 寝屋川ク

〔戦評〕前半立ち上がり、寝屋川・小森園のステップ、名賀のサイド、千葉・山野のサイドと両チームそれぞれの持ち味を生かした展開となる。中盤に入り寝屋川にミスが目立ち始める。そのスキをついて千葉は天野の速攻などで次々と加点。

後半、千葉・羽生のロングなどでペースをつかみ、一方寝屋川は小森園のステップで巻き返しを図るが、地力に勝る千葉が23－17で試合をものにした。（木村）

〔寝屋川〕（審・福井 兼田）

	氏名	得
GK	打田	0
FP	林	4
	吉田	0
	永井	1
	亀井	0
	名賀	2
	小森園	6
	古本	1
	菊地	0
	津熊	1
	中山	2
PT	(0)	17

〔千葉〕

	氏名	得
GK	小笹原	0
FP	大森	1
	石塚	3
	天野	2
	海老根	2
	山野	3
	桑代	0
	松川	3
	杉本	4
	原	2
	羽生	3
PT	(2)	23

京都教員 33〔17－6／16－4〕10 滋賀教員

〔戦評〕国体に向け練習量の豊富な京都は、立ち上がりから多彩な攻撃を仕掛け、必死に健闘する滋賀に次から次へとシュートを浴びせて圧倒し、大差をつけて京都が勝ち上がった。（酒井）

〔滋賀〕（審・木村 井上）

	氏名	得
GK	灰方	0
	中島	0
FP	福川	0
	尾村	0
	貫名	0
	田辺	3
	今井	2
	大橋	1
	草野	3
	重盛	0
	杉山	0
	藤本	1
PT	(1)	10

〔京都〕

	氏名	得
GK	畑添	0
FP	矢野	2
	多田	4
	森山	1
	藤田	6
	谷坂	2
	渡辺	8
	大野	7
	勝原	0
	坂本	0
PT	(3)	33

準決勝

愛知教員 24〔10－6／14－5〕11 神奈川教員

〔戦評〕愛知がGK三宅の好守、そして守って走って得点するパターンで着実に加点していく。神奈川も後半に入って頑張りを見せるが、攻撃に少し工夫が欲しかった。愛知の両サイド尾崎、大久保の活躍が目立った。（林）

〔神奈川〕（審・吉田 田中）

	氏名	得
GK	大森	0
FP	山口	5
	加藤	2
	土屋	3
	野島	1
	稲田	0
	野見山	0
	大久保	0
	小池	0
PT	(3)	11

〔愛知〕

	氏名	得
GK	松下	0
	三宅	0
FP	稲垣	1
	天野	2
	鈴木	0
	武田	0
	二村	3
	富田	5
	大久保	6
	関	1
	杉浦	0
	尾崎	6
PT	(0)	24

京都教員 25〔13－3／12－6〕9 千葉ク

〔戦評〕前半から足を使って攻撃にリズムを持ち、速攻で得点を重ねる京都に対し、千葉も反撃するが京都の帰陣も早く、セットの攻撃を強いられ、12－6で前半を終る。後半7分間は、千葉も足を使い互角の試合となるが、走りの中でのサイドシュート、カットイン、ポストと随所に切れるプレーを展開する。（田中）

〔千葉〕（審・島田 酒井）

	氏名	得
GK	小笹原	0
FP	大森	1
	石塚	0
	天野	0
	海老根	0
	山野	1
	桑代	0
	松川	2
	杉本	2
	原	3
	羽生	1
PT	(1)	9

〔京都〕

	氏名	得
GK	畑添	0
FP	矢野	3
	多田	1
	森山	2
	池上	6
	藤田	4
	谷坂	1
	渡辺	4
	花田	0
	大野	4
	勝原	0
PT	(1)	25

3位決定戦

千葉ク 17〔8－5／9－9〕14 神奈川教員

〔戦評〕前半、千葉クの先行で大森、松川のロングシュートが決まるが、その後攻撃が単調となり、11分には神奈川の反撃で同点となる。後半になって、千葉クのディフェンスのつめも早く、神奈川の攻撃が思うように展開できず、千葉のローリングが随所に得点、17－14で終る。（田中）

〔神奈川〕（審・茨木 辻）

	氏名	得
GK	大森	0
FP	山口	2
	加藤	3
	土屋	1
	野島	2
	稲田	0
	野見山	0
	大久保	1
	小池	5
PT	(1)	14

〔千葉〕

	氏名	得
GK	小笠原	0
FP	大森	5
	石塚	3
	天野	0
	海老根	0
	山野	1
	桑代	0
	松川	3
	杉本	0
	原	3
	羽生	2
PT	(0)	17

決勝

京都教員 25〔13－10／12－4〕14 愛知教員

〔戦評〕前半、決勝戦らしく足を使った攻防が見られ、愛知の先行で試合が流れるが、10分過ぎに京都が同点となってからの攻防は目を見張る動きが出て来る。攻撃面では池上の速攻と大野らの動きが目立ち、守っては藤田と畑添のプレーが光り、12－4で終る。後半になっても京都の攻撃はスピードに乗って展開し、見事初優勝を飾った。（田中）

〔愛知〕（審・北山 大原）

	氏名	得
GK	松下	0
	三宅	0
FP	稲垣	0
	天野	2
	鈴木	2
	武田	0
	二村	0
	富田	1
	大久保	6
	関	0
	杉浦	0
	尾崎	3
PT	(2)	14

〔京都〕

	氏名	得
GK	畑添	0
FP	矢野	4
	多田	1
	森山	0
	池上	6
	藤田	6
	谷坂	1
	渡辺	2
	花田	0
	大野	5
	坂本	0
PT	(5)	25

第7回全国クラブ選手権大会

大同ク、あゆみクが、ともに3年ぶり3度目の優勝

第7回全国クラブ選手権大会は8月15日から17日まで秋田県湯沢市と羽後町にて、男22、女子12チームが参加して開催された。予選リーグ、決勝トーナメントを経て、男子は大同クラブ（愛知）が3年ぶり3回目、女子はあゆみクラブ（三重）が再延長の激戦の末FCCを降し、これまた3年ぶり3度目の優勝に輝いた。

男子

予選リーグ

○A組
境港ク（鳥取） 25－13 ボンチフエローズ（大阪）
〔順位〕①境港ク②ボンチフエローズ

○B組
大同ク（愛知） 23－22 花巻ク（岩手）
〔順位〕①大同ク②花巻ク

○C組
氷見ク（富山） 21－15 白亜ク（岩手）
氷見ク 19－18 桜門ク（関東）
桜門ク 20－15 白亜ク
〔順位〕①氷見ク②桜門ク③白亜ク

○D組
日川ク（山梨） 34－15 清商ク（静岡）
日川ク 26－12 徳山ク（山口）
徳山ク 28－20 清商ク
〔順位〕①日川ク②徳山ク③清商ク

○E組
湯沢ク（秋田） 23－20 日吉ユニオンズ（神奈川）
高知ク（高知） 22－21 湯沢ク
日吉ユニオンズ 18－13 高知ク
〔順位〕①湯沢ク②日吉ユニオンズ③高知ク

○F組
マツダク（秋田） 19－15 生駒ク（奈良）
学芸球駿会（東京） 20－20 マツダク
学芸球駿会 25－15 生駒ク
〔順位〕①学芸球駿会②マツダク③生駒ク

○G組
小松ク（石川） 19－7 蒲生ク（滋賀）
小松ク 22－18 山形ク（山形）
山形ク 19－15 蒲生ク
〔順位〕①小松ク②山形ク③蒲生ク

○H組
野辺地ク（青森） 23－19 県和商ク（和歌山）
野辺地ク 26－18 46G会（埼玉）
県和商ク 17－15 46G会
〔順位〕①野辺地ク②県和商ク③46G会

1回戦

境港ク 25（11－12、14－9）21 花巻ク

〔戦評〕前半、境港・児玉のミドル、フェイントからのカットインプレー、速攻で加点、花巻・及川のポスト、小田中のミドルで得点、14－9で終了。

後半も境港のリズムでゲームが展開されたが、10分過ぎ花巻・中嶋、鎌田のミドルで点差を縮めたが、前半の点差がゲームを決めた。（谷藤）

得	〔境港〕		〔花巻〕	得
0	足川	GK	佐藤	0
0	桑本	GK		
3	西村	FP	中嶋	5
0	望月	FP	及川	4
1	荒木	FP	鎌田	4
5	田中	FP	大沢	1
9	児玉	FP	山口	0
2	古賀	FP	吉田	0
2	松井	FP	森田	1
0	六車	FP	谷藤	1
3	小沢	FP	小田中	5
0	仁志	FP	岩角	0
25	(3)	PT	(1)	21

（審・大河原、池田）

野辺地ク 32（19－4、13－9）13 マツダク

〔戦評〕前半5分までは野辺地の浜野らのロングシュートなどが決まりリード。10分あたりから野辺地のシュートミスが多くなり、マツダが確実に得点し逆転したが、残り5分から野辺地の速攻が決まり再度逆転。後半も野辺地の速攻が冴えリードを広げた。（藤本）

得	〔野辺地〕		〔マツダ〕	得
0	松山	GK	今野	0
1	木村	FP	山崎	1
7	浜野	FP	高橋均	2
1	清水目	FP	藤井	8
3	滝口	FP	佐々木	0
5	嶋川	FP	荒木田	0
2	角谷	FP	今野	3
4	荒谷	FP	竹原	4
0	小笹原	FP	高橋直	6
4	黒川	FP		
5	立石	FP		
32	(1)	PT	(2)	23

（審・小友、谷藤）

湯沢ク 31（20－6、11－7）13 山形ク

〔戦評〕前半、山形はGKの好守と全員がよく走り健闘したが、地力に勝る湯沢が、前・後半通して好プレーの連続で圧勝した。（小友）

得	〔湯沢〕		〔山形〕	得
0	吉田	GK	横瀬	0
2	佐藤文	FP	鎌田	3
4	高橋	FP	加藤	1
1	菅野	FP	高橋	2
0	近野	FP	阿部	1
2	佐々木	FP	佐藤	1
3	渡部	FP	伊藤	1
3	半田	FP	梁瀬	1
2	斎藤	FP	瀧浪	3
11	佐藤一	FP	叶内	0
3	石山	FP		
31	(2)	PT	(4)	13

（審・工藤、本藤）

日川ク 28（13－8、15－10）18 桜門ク

〔戦評〕前半15分まで一進一退が続いたが、その後日川が速攻及びサイド攻撃などで連続得点し、徐々に差が開いた。後半、日川・菊島の退場を契機に追撃すべきところ、逆に連続失点し、差はつまらなかった。（大河原）

得	〔日川〕		〔桜門〕	得
0	菊島功	GK	山崎	0
0	辻	GK	尾沢	0
3	武藤	FP	采野	1
4	関口	FP	宮沢	2
6	古屋	FP	榎本	0
0	佐藤茂	FP	杉森	3
0	佐藤建	FP	高野	3
6	菊島裕	FP	安福	1
0	広瀬	FP	金岡	0
0	窪川	FP	江沢	6
9	中澤	FP	藤本	2
		FP	福本	0
28	(2)	PT	(3)	18

（審・小友、谷藤）

氷見ク 34（19−8、15−5）13 徳山ク

〔戦評〕氷見の速攻が前・後半が冴え、得点を重ねた。徳山は攻めが単発になり、氷見GK水谷の前にシュートを決めることができなかった。（佐東）

得	〔氷見〕		〔徳山〕	得
0	水谷	GK	木村	0
0	姿			
7	瀬戸	FP	木安	1
1	中原		明石英	0
2	矢田		宮本	3
4	小坪		安沢秀	4
6	金原		安沢保	0
3	西山		明石雄	3
3	大石		内田	2
4	山崎		樫部	0
2	中山			
2	指崎			
		〔審・五島、石井〕		
34	(2)	PT	(0)	13

県和商ク 25（15−13、10−8）21 学芸球駿会

〔戦評〕県和商クが立ち上がり8−2とリードしたが、前半の半ば過ぎから学芸球駿会が反撃、前半は2点リードで折り返した。後半は両チーム共得点を重ねるが、点差が縮まらず、県和商クが逃げ切った。（田川）

得	〔県和商〕		〔学芸〕	得
0	今宮	GK	藤井	0
9	中村	FP	古屋	1
0	大石哲		利藤	8
2	福本		大田原	4
5	松下		池田	0
3	大石広		沖山	2
3	山下		荒居	1
0	泉屋		出倉	1
			花野	4
		〔審・佐東、結城〕		
25	(5)	PT	(0)	21

小松ク 19（10−9、9−5）14 日吉ユニオンズ

〔戦評〕前半、両チーム共プレーに堅さが見られ、ミスが目立った。小松クは15分過ぎから足を使った攻めに転じ、黒田、藤井両サウスポーを中心にシュートを決め点差を広げた。後半に入っても、一進一退の攻防が続き、18分には日吉ユニオンズも反撃し、3点差まで追い上げたのが精一杯で、走力に勝る小松クが逃げ切った。（石川）

得	〔小松〕		〔日吉〕	得
0	清水	GK	上原	0
0	松本		青木	0
3	福田	FP	草皆	2
0	橘		津村	2
2	与三野		江川	1
2	日吉		今井	2
0	角		木全	2
0	黒田		石塚	2
6	吉田		小磯	0
1	藤井		泉	3
5	土山			
0	山本			
		〔審・石井、田川〕		
19	(2)	PT	(2)	14

大同ク 25（13−10、12−4）14 ボンチフェローズ

〔戦評〕大同クはよく声で連絡をとりながら、組織的なプレーが見られた。特にディフェンスがよくボンチフェローズのシュートがカットされ大同の速攻を許した。後半にボンチが追い上げたが、ミスが多くなり大同が走り勝った。（不明）

得	〔大同〕		〔ボンチ〕	得
0	柳川清	GK	嶋田	0
0	小野			
6	柳川実	FP	木下	1
1	藤中		池田	0
2	加藤		西村	5
5	中井		藤井	0
2	松原		井内	3
2	更谷		伊藤	0
5	大原		吉村	0
1	清崎		木村	2
0	桑幡		杉岡	3
1	鈴木			
		〔審・工藤、石川〕		
25	(0)	PT	(1)	14

2回戦

境港ク 24（12−7、12−9）16 野辺地ク

〔戦評〕早いボール回しからの速攻とサイド、ポストプレーを駆使した境港クラブのペースで進められ、野辺地のスピードある攻撃も積極的ディフェンスで阻止された。後半に入っても境港優位は動かず点差は開いた。しかし、野辺地の善戦が光ったゲームであった。（石川）

得	〔境港〕		〔野辺地〕	得
0	足川	GK	松山	0
0	桑本			
1	西村	FP	木村	2
3	望月		浜野	4
0	荒木		清水目	5
4	田中		斉藤	0
7	児玉		嶋川	2
4	古賀		角谷	1
0	松井		荒谷	0
1	六車		小塚	0
2	小沢		黒川	1
2	仁志		立石	1
		〔審・大河原、池田〕		
24	(3)	PT	(0)	16

日川ク 30（18−8、12−6）14 湯沢ク

〔戦評〕前半、湯沢はセット攻撃から得点するが、日川は速攻からパスをつないで確実に得点し、点差を広げた。後半、疲れの出た湯沢に対し、日川・広瀬、窪川の速攻、菊島、中沢のロングシュートで一方的に押し切った。（池田）

得	〔日川〕		〔湯沢〕	得
1	菊島功	GK	吉田	0
0	辻			
3	武藤	FP	佐藤文	1
0	関口		高橋	3
4	古屋		菅野	1
2	佐藤建		佐々木	0
0	佐藤茂		渡部	3
5	菊島裕		半田	3
4	広瀬		斉藤	0
4	窪川		佐藤一	3
7	中沢		石山	0
			高山	0
		〔審・石川、工藤〕		
30	(1)	PT	(3)	14

氷見ク 28（15−5、13−9）14 県和商ク

〔戦評〕両チーム共ポストを使った攻め合いとなり得点を重ねるが、ディフェンスと走力のある氷見クラブが得点を重ねた。後半に入ってからも、戻りの遅い県和商クをハーフ速攻からのサイドシュート、ポストシュートで得点し快勝した。（不明）

得	〔氷見〕		〔県和商〕	得
0	水谷	GK	今宮	0
0	姿			
0	瀬戸	FP	中村	2
4	中原		甲斐	0
1	矢田		大石哲	3
3	小坪		福本	0
5	金原		松下	3
1	西山		大石広	3
2	大石		山下	0
5	山崎		泉屋	3
5	中山			
2	指崎			
		〔審・佐東、―〕		
28	(2)	PT	(2)	14

大同ク 25（11−9、14−10）19 小松ク

〔戦評〕15分過ぎまで一進一退の

白熱したゲーム展開で進み、ミドル、速攻などで大同クが4点リードして前半を終った。後半に入っても、前半に引き続き小松の土山がマークされ得点できず苦戦した。一方大同クは、力のプレーで圧勝したが、ラフプレーが目についたゲームだった。（不明）

得	〔大同〕		〔小松〕	得
0	柳川清	GK	清水	0
0	小野	GK	松本	0
0	柳川実	FP	福田	0
7	藤中	FP	橘	0
0	加藤	FP	与三野	0
6	中井	FP	日吉	1
0	松原	FP	角	1
2	更谷	FP	黒田	0
3	清崎	FP	吉田	4
0	桑幡	FP	藤井	2
0	鈴木	FP	土山	7
7	大原	FP	山本	0
25	(1)	PT	(2)	19

（審・小沼 田川）

準決勝

境港ク22〔14－9／8－12〕21日川ク

〔戦評〕昨年の優勝チーム・境港と2回戦まで大差で勝ち進み勢いにのる日川との対戦であったが、前半は、先制した日川がペースを握り、中澤、菊島らのロングなどで4点リードのまま折り返した。

後半、境港は残り10分で逆転した。その後、スカイプレーなど多彩な攻めで境港が1点差で逃げ切った。（佐藤）

得	〔境港〕		〔日川〕	得
0	足川	GK	菊島功	0
0	桑本	GK	辻	0
1	西村	FP	武藤	4
1	望月	FP	関口	0
1	荒木	FP	古屋	3
10	田中	FP	佐藤茂	1
3	児玉	FP	佐藤建	0
4	古賀	FP	菊島裕	5
1	松井	FP	広瀬	0
0	六車	FP	中澤	8
1	小沢	FP		
0	仁志	FP		
22	(3)	PT	(1)	21

（審・石川 工藤）

大同ク21〔11－13／10－5〕18氷見ク

〔戦評〕開始後4点連取で大同が先行しペースを握った。氷見は、速攻などで対抗するものの点差をつめられず、前半5点差で折り返した。

後半に入り、氷見は速攻、金原のカットインなどで点をかせぎ、1点差まで詰め寄ったが、地力に勝る大同クが逆転を許さず、3点差で逃げ切った。（佐藤）

得	〔大同〕		〔氷見〕	得
0	柳川清	GK	水谷	0
0	小野	GK	姿	0
1	柳川実	FP	瀬戸	1
2	藤中	FP	中原	3
1	加藤	FP	矢田	3
5	中井	FP	小坪	0
0	松原	FP	金原	4
9	大原	FP	西山	0
0	更谷	FP	大石	0
3	清崎	FP	小崎	1
0	桑幡	FP	中山	1
0	鈴木	FP	指崎	5
21	(3)	PT	(1)	18

（審・大河原 池田）

決勝

大同ク22〔11－10／11－8〕18境港ク

〔戦評〕昨年と同じカードの決勝は、大同が中井のロングシュートなどで先行し、境港がそれを追いかけるかたちになった。

後半に入り、境港はフォーメーション・プレーで確実に得点し、1点差まで詰め寄ったものの、常に落ち着いた試合運びでチャンスをものにしていった大同クラブが結局4点差で境港クラブを降し、3年ぶり3度目の優勝を果たした。（佐藤）

得	〔大同〕		〔境港〕	得
0	柳川清	GK	足川	0
0	小野	GK	桑本	0
4	柳川実	FP	西村	0
4	藤中	FP	望月	2
0	加藤	FP	荒木	0
8	中井	FP	田中	7
0	松原	FP	児玉	6
4	大原	FP	古賀	0
1	更谷	FP	松井	0
1	清崎	FP	六車	0
0	桑幡	FP	小沢	3
0	鈴木	FP	仁志	0
22	(1)	PT	(2)	18

（審・小友 谷藤）

女子

予選リーグ

○イ組

FCC 15－8 全和洋
（福岡）　（秋田）

全和洋 8－4 ポストク
（静岡）

FCC 21－6 ポストク

〔順位〕①FCC②全和洋③ポストク

○ロ組

レキオク 19－10 武蔵野ク
（沖縄）　（東京）

レキオク 17－8 御成ク
（茨城）

武蔵野ク 9－8 御成ク

〔順位〕①レキオク②武蔵野ク③御成ク

○ハ組

風見鶏ク 16－9 野辺地ク
（兵庫）　（青森）

日川ク 15－8 野辺地ク
（山梨）

日川ク 10－8 風見鶏ク

〔順位〕①日川ク②風見鶏ク③野辺地ク

○ニ組

あゆみク 13－12 全福井
（三重）　（福井）

大農OG 14－13 全福井
（秋田）

あゆみク 22－11 大農OG

〔順位〕①あゆみク②大農OG③全福井

1回戦

FCC22〔12－10／10－3〕13武蔵野ク

〔戦評〕FCCは全員が走り、武蔵野をスピードで圧倒した。特に右サイドからの攻撃、ポストからの攻撃と多彩な攻めを見せた。武蔵野も善戦したが、FCCのスピ

ードについていけなかった。（不明）

〔武蔵野〕	得		〔FCC〕	得
久保	0	GK	上野	0
星野	0	GK	沢辺	0
冬木	0	FP	川波	2
林	3	FP	松田	4
荒居	3	FP	藪田	3
佐々木	0	FP	妹川	5
秋本	0	FP	田中	2
市川	0	FP	尾木	3
岩城	7	FP	田口	0
		FP	橋本	0
		FP	下野	3
13	(3)	PT	(2)	22

（審・高山 遠藤）

日川ク 27 （13−9 14−3） 12 大農OG

〔戦評〕大農OGに攻め手が少なく、速攻もパスミスとなり、逆に日川クの得点となる。その後、日川クにロング、カットインを許し大きく差が開いた。後半に入ると日川に雑なプレーが目立ち、互角の戦いとなる。（不明）

〔大農〕	得		〔日川〕	得
大山	0	GK	日原	0
佐々木	0	GK		
十田	0	FP	梅本	5
遠藤	4	FP	金井	4
高田	3	FP	矢沢	4
鈴木	2	FP	坂本	7
三浦	3	FP	梅木	3
佐藤	0	FP	佐藤	4
		FP	土屋	0
12	(2)	PT	(2)	27

（審・小林 照井）

レキオク 18 （9−7 9−9） 16 全和洋

〔戦評〕前半15分まで一進一退の攻防で白熱したゲーム展開であったが、走力に勝るレキオクラブが9−7のリードで前半終了。後半も15分過ぎまで接戦で白熱したゲームであったが、レキオクが逃げ切った。（不明）

〔金和洋〕	得		〔レキオ〕	得
加賀谷	0	GK	伊是名	0
中村	4	GK	砂辺	0
鈴木	4	FP	嵩原	0
伊藤	0	FP	平良	3
藤原	0	FP	具志堅	5
山口	0	FP	山本	2
安田	3	FP	真栄城	4
鈴木	1	FP	澤村	0
堀岡	2	FP	下里	1
小松	2	FP	石川	1
		FP	内間	0
		FP	喜久山	2
16	(0)	PT	(2)	18

（審・小笠原 高橋）

あゆみク 24 （13−6 11−4） 10 風見鶏ク

〔戦評〕あゆみクラブが終始主導権を握る。あゆみクのスピードが風見鶏を上回り、ディフェンス、オフェンスともにあゆみクラブが一枚上手であった。（不明）

〔風見鶏〕	得		〔あゆみ〕	得
村山	0	GK	矢部	0
中谷	0	GK	木村	0
坂本	0	FP	辻本	2
畑	1	FP	三木	2
上水流	1	FP	伊勢	3
尾上	0	FP	石田	2
呉田	1	FP	寺沢	3
筒井	1	FP	宮崎	0
小倉	2	FP	今里	2
和田	3	FP	池内	5
奥坂	1	FP	鷲野	5
中尾	0			
10	(1)	PT	(3)	24

（審・小林 照井）

準決勝

FCC 26 （14−9 12−2） 11 日川ク

〔戦評〕前半立ち上がりからFCCはGKの好守からの速攻、サイドとよく走り、12−2と大きく差を広げた。後半に入ってもFCCの走りは衰えず、日川も大きな点差にもかかわらず最後まで試合を捨てずに頑張ったが、前半の差が大きく、とどかなかった。（不明）

〔日川〕	得		〔FCC〕	得
日原	0	GK	上野	0
梅本	3	GK	沢辺	0
金井	2	FP	川波	1
矢沢	0	FP	松田	10
坂本	5	FP	藪田	5
梅木	1	FP	妹川	1
佐藤	0	FP	田中	5
土屋	0	FP	尾木	1
		FP	田口	1
		FP	橋本	1
		FP	下野	1
11	(2)	PT	(4)	26

（審・高山 藤原）

あゆみク 22 （7−9 8−6 4−0 3−1） 16 レキオク

〔戦評〕両チーム共スピード感あふれる攻防をくり広げ、試合は延長戦にもつれこんだ。
延長に入り、あゆみクラブが5点を連取し逃げ切った。（不明）

〔レキオ〕	得		〔あゆみ〕	得
伊是名	0	GK	矢部	0
砂辺	0	GK	木村	0
嵩原	2	FP	辻本	4
平良	2	FP	三木	4
具志堅	1	FP	伊勢	0
山本	3	FP	石田	1
金城	0	FP	寺沢	1
真栄城	5	FP	宮崎	1
澤村	0	FP	今里	0
下里	0	FP	池内	2
石川	0	FP	鷲野	2
喜久山	2			
16	(1)	PT	(2)	22

（審・小笹原 高橋）

決勝

あゆみク 17 （6−4 4−6 3−1 0−2 4−0 0−2） 15 FCC

〔戦評〕前半、FCCが好スタートを切り、主導権を握ったもののあゆみクラブが相手のミスを確実に点に結びつけ逆転に成功した。後半に入り、あゆみクラブのセット攻撃に対し、FCCの速攻で一進一退の攻防になり、延長戦にもつれこんだ。

第1延長は、流れがあゆみクラブに向いたと思われたが、終了間際にFCCの屋木のサイドシュートが決まり、再延長となった。第2延長ではあゆみクラブが4点連取し、FCCの反撃をかわして3度目の優勝に輝いた。（佐藤）

〔FCC〕	得		〔あゆみ〕	得
上野	0	GK	矢部	0
沢辺	0	GK	木村	0
川波	1	FP	辻本	2
松田	3	FP	三木	1
藪田	0	FP	伊勢	3
妹川	6	FP	石田	2
田中	1	FP	寺沢	1
尾木	2	FP	宮崎	4
田口	0	FP	今里	0
橋本	2	FP	池内	2
下野	0	FP	鷲野	2
15	(1)	PT	(0)	17

（審・高山 藤原）

第14回全国高専選手権大会

桐蔭学園が二連覇を飾る

第14回全国高専選手権大会は、8月4、5日の2日間、宮城県仙台市で全国から11校が参加して開催された。

決勝は桐蔭学園と八代高専の顔合せとなったが、桐蔭が前半から大差をつけ、昨年につづく4度目の優勝を飾った。

1回戦

宇部高専（山口）23〔13—6 / 10—8〕14 沼津高専（静岡）

〔戦評〕前半から宇部の堅いディフェンスが目立ち、GK広瀬からの的確なパスで、平、佐々木、広瀬らが速攻で得点を重ねた。沼津を田中、天野のカットインシュートで食い下がったが、シュートの甘さと相手ディフェンスの堅さから得点を封じられた。また、ディフェンスの甘さから宇部のポストプレー、サイドシュートで得点差を広げられた。（伊藤）

得	〔宇部〕		〔沼津〕	得
0	椋原	GK	土本	0
0	広瀬		長崎	0
4	平	FP	能谷	4
4	佐々木		山下	1
5	菊屋		田中	3
7	広瀬		内山	1
2	立野		内山	1
0	河野		天野	2
0	河村		斉藤	1
0	村中		鈴木	0
1	河崎		杉山	0
0	高井		落合	0
23	(1)	PT	(1)	14

和歌山高専（和歌山）34〔15—11 / 19—4〕15 宮城高専（宮城）

〔戦評〕立ち上がりから両チーム共にカットイン、速攻、サイドシュートと点の取り合いとなり、和歌山が2点リードのまま20分まで来たが、終了間際、ペナルティー、速攻で4点差として前半を終了した。

宮城は善戦したが、後半は和歌山が多彩な攻撃で一方的に宮城ディフェンスを攻めて圧勝した。シュート力、ディフェンス力の差が出た試合といってもよいだろう。（守屋）

得	〔和歌山〕		〔宮城〕	得
0	小田	GK	高橋	0
			高橋	0
2	清水	FP	川口	1
2	月野		伊藤	8
14	松崎		坂本	0
0	鍛治		谷	0
0	城山		鈴木	1
0	中谷		大場	0
0	竹内		小野寺	1
10	田浦		佐藤	0
0	若林		佐藤	4
6	小崎		加藤	0
34	(2)	PT	(3)	15

長岡高専（新潟）26〔13—10 / 13—12〕22 明石高専（兵庫）

〔戦評〕前半、両チームともに速攻時のパスミス、シュートの時のラインクロスが目立った。中盤まで明石高専のディフェンスの甘さをついて長岡高専が8—4とリードをする。

一方明石高専も、柿原の速攻やポストプレーで粘りのプレーを見せた。後半15分、明石は1点差に詰め寄ったが、長岡は重野を中心として着々と加点し振り切った。（今野）

得	〔長岡〕		〔明石〕	得
0	飯野	GK	阪田	0
0	村山		今宿	0
7	加茂	FP	森下	0
5	真嶋		伊藤	2
0	小池		繁田	8
9	重野		多田	2
3	谷口		宮地	0
2	拝野		柿原	3
0	青柳		宮本	6
0	宮下		上平	0
0	小林		早川	1
0	長沢		秋吉	0
26	(2)	PT	(0)	22

2回戦

桐蔭学園（神奈川）22〔7—8 / 10—9 / 0—2 / 5—2〕21 宇部高専

〔戦評〕前半、両チームスピーディな攻防と堅いディフェンスで好試合となった。GKからの逆速攻で4点差まで宇部がリードしたが、残り10分、桐蔭・市川のカットインと速攻で1点差に追いついた。

後半開始20秒、桐蔭が同点に追いつくと、以後一進一退の接戦となった。23分に宇部が逆速攻で同点とし、結局延長戦に入る。延長前半、宇部がパスミスを速攻に結びつけて2点をあげ、宇部有利かと思われたが、延長後半、桐蔭は梶尾のサイドシュートで逆転に成功した。（伊藤）

得	〔桐蔭〕		〔宇部〕	得
0	佐藤	GK	椋原	0
0	内藤		広瀬	0
0	佐藤	FP	平	1
0	和田		佐々木	2
4	梶尾		菊屋	4
0	皆川		広瀬	8
3	大塚		立野	1
1	早川		河野	0
0	角田		河村	0
0	野場		村中	0
7	七原		河崎	5
7	市川		高井	0
22	(1)	PT	(5)	21

和歌山高専 34〔17—13 / 17—16〕29 豊田高専（愛知）

〔戦評〕前半、和歌山はキャプテン松崎のカットイン、ロングで豊田ディフェンスをゆさぶり、マークが集まると巧みなパスワークでゲームを展開し、得点を重ねた。

一方豊田は、ノーマークでのシュートミスが目立ち、追いつくことが出来なかった。

後半になり、豊田がパスカットからの速攻で詰め寄るが、和歌山のGK小田の好守にはばまれ、パ

スワークで勝る和歌山が勝利をおさめた。（不明）

〔豊田〕

	選手	得
GK	高嶋	0
GK	加納	0
FP	松見	11
FP	野田	1
FP	古川	4
FP	水野	3
FP	磯部	0
FP	滝川	4
FP	小野	0
FP	古田	0
FP	田口	6
FP	小澤	0
PT	(3)	29

〔和歌山〕

	選手	得
GK	小田	0
FP	清水	0
FP	月野	4
FP	松崎	11
FP	鍛治	9
FP	城山	0
FP	中谷	0
FP	竹内	0
FP	田浦	7
FP	若林	0
FP	小崎	3
PT	(2)	34

八代高専（熊本）26〔12－11、14－9〕20 秋田高専（秋田）

〔戦評〕前半、八代の田中、園田のミドルシュート、ブロックからのシュートが功を奏した。これに対し、秋田は単調な攻めとディフェンスの甘さが見られたが、三浦のシュートがひと際目立った。

後半、一進一退の攻防をくり返したが、ディフェンスに勝る八代に軍配が上がった。（菅井）

〔秋田〕

	選手	得
GK	木暮	0
GK	伊藤	0
FP	木村	3
FP	三浦	4
FP	伊藤	3
FP	藤原	4
FP	今野	5
FP	斉藤	1
FP	田牧	0
FP	奈良	0
FP	熊谷	0
FP	木村	0
PT	(0)	20

〔八代〕

	選手	得
GK	山口	0
GK	木下	0
FP	重田	0
FP	蒲原	1
FP	田中	9
FP	岩崎	0
FP	山田	0
FP	守谷	1
FP	丸塚	4
FP	井上	0
FP	池田	8
FP	園田	0
PT	(1)	26

長岡高専 33〔14－8、19－9〕17 富山高専（富山）

〔戦評〕両チームともにスピードのあるプレーを展開したが、特に長岡はセット攻撃から重野のミドル、真嶋のカットインなどで着実に得点に結びつけた。富山はインターセプトをきっかけに橋森の速攻などでよく粘ったが、16分以降長岡は富山のパスミスやオーバーステップの反則をついて7連続得点をあげた。

後半も、長岡が中盤で6連続得点するなど大差で勝利をものにした。（佐藤久）

〔富山〕

	選手	得
GK	木下	0
FP	橋森	7
FP	茂泉	2
FP	江端	0
FP	沢田	1
FP	田島	1
FP	南	0
FP	五島	0
FP	丹保	6
FP	堀	0
FP	中川	0
PT	(1)	17

〔長岡〕

	選手	得
GK	飯野	0
GK	村山	0
FP	加茂	4
FP	真嶋	10
FP	小池	1
FP	重野	11
FP	谷口	1
FP	拝野	6
FP	青柳	0
FP	宮下	0
FP	小林	0
FP	長沢	0
PT	(1)	33

準決勝

桐蔭学園 32〔18－10、14－9〕19 和歌山高専

〔戦評〕前半20分まで1点を争う好ゲームとなったが、和歌山の退場者が相つぎ、速攻、サイドシュートなどで2点差がついた。

後半に入り、和歌山は松崎を中心に展開、2点差としたが、桐蔭は速攻、横ブロック、手渡しパスからのシュート、サイドシュートなどで着実に得点を重ねた。

スピード、パスワークの面で桐蔭が一歩リードしていたといえよう。（守屋）

〔和歌山〕

	選手	得
GK	小田	0
FP	清水	1
FP	月野	1
FP	松崎	6
FP	鍛治	2
FP	城山	0
FP	中谷	0
FP	竹内	0
FP	田浦	7
FP	若林	1
FP	小崎	1
PT	(3)	19

〔桐蔭〕

	選手	得
GK	佐藤	0
GK	内藤	0
FP	佐藤	0
FP	和田	0
FP	梶尾	9
FP	皆川	0
FP	大塚	10
FP	早川	3
FP	角田	1
FP	野場	0
FP	七原	4
FP	市川	5
PT	(2)	32

八代高専 21〔13－9、8－11〕20 長岡高専

〔戦評〕前半、長岡・真嶋の速攻、加茂のサイドシュートで2点先取。八代は、主将田中からのパスを重田とのコンビプレーでポスト攻撃を中心に4点連取し逆転。中盤長岡は、八代のワンパターンの攻撃をついて5点連取し、前半11－8で折り返した。

後半15分まで長岡の3点リードで進行したが、八代は長岡のフローターを完全マーク、動きを封じたスキに4点を連取して逆転に成功。そのまま振り切った。

後半は、八代の丸塚の好プレーが目立った。（佐藤久）

〔長岡〕

	選手	得
GK	飯野	0
GK	村山	0
FP	加茂	6
FP	真嶋	5
FP	小池	1
FP	重野	6
FP	谷口	0
FP	拝野	2
FP	青柳	0
FP	宮下	7
FP	小林	0
FP	長沢	0
PT	(0)	20

〔八代〕

	選手	得
GK	山口	0
GK	木下	0
FP	重田	1
FP	蒲原	0
FP	田中	4
FP	岩崎	0
FP	山田	0
FP	守谷	2
FP	丸塚	6
FP	井上	0
FP	池田	5
FP	園田	3
PT	(3)	21

決勝

桐蔭学園〔15－15、16－7〕22 八代高専

〔戦評〕開始早々、桐蔭が市川のパスカット速攻で2点連取、八代は単調なパスまわしを読まれて苦しいスタートとなった。脚力がありスピードにまさる桐蔭はズラシからのサイドシュート、ブロックをからませてのロング、フェイントカットインで着実に加点した。八代は田中のカットインから裏ポストへのパスプレーで活路を開こうとするが、得点差は縮まらない。結局、前半を16－7と桐蔭が9点をリード。

後半、両チーム1点ずつ加点したあと、八代は4点を連取、5点差まで追撃したが、要所でミスが出てしまい苦しい展開となった。

桐蔭GK佐藤（栄）の攻守も光り、桐蔭が逃げ切った。（佐々木）

〔八代〕

	選手	得
GK	山口	0
GK	木下	0
FP	重田	2
FP	蒲原	3
FP	田中	5
FP	岩崎	0
FP	山田	0
FP	守谷	1
FP	丸塚	4
FP	井上	0
FP	池田	5
FP	園田	2
PT	(1)	22

〔桐蔭〕

	選手	得
GK	佐藤栄	0
GK	内藤	0
FP	佐藤一	0
FP	和田	0
FP	梶尾	5
FP	皆川	0
FP	大塚	6
FP	早川	2
FP	角田	2
FP	野場	0
FP	七原	6
FP	市川	10
PT	(2)	31

第26回（女子17回）西日本学生選手権

8月14日～17日　愛媛県松山市

福岡大（男子）、大体大（女子）が制す

男子

▼リーグ

○Aブロック

大体大 38－11 久工大
大体大 18－11 関西大
大体大 40－13 名学大
関西大 22－18 名学大
関西大 20－19 久工大
久工大 45－17 名学大

〔順位〕①大阪体育大②関西大③久留米工業大④名古屋学院大

○Bブロック

中京大 27－10 松商大
中京大 29－13 琉球大
中京大 31－13 近畿大
近畿大 26－15 琉球大
近畿大 23－17 松商大
琉球大 28－18 松商大

〔順位〕①中京大②近畿大③琉球大④松山商科大

○Cブロック

京産大 24－22 大阪大
京産大 31－23 愛教大
京産大 29－18 愛媛大
愛教大 28－14 愛媛大
愛教大 24－21 大阪大
大阪大 17－12 愛媛大

〔順位〕①京都産業大②愛知教育大③大阪大④愛媛大

○Dブロック

福岡大 41－13 名古屋大
福岡大 35－8 高知大
福岡大 33－19 天理大
天理大 28－18 高知大
天理大 31－23 名古屋大
名古屋大 29－29 高知大

〔順位〕①福岡大②天理大③名古屋大④高知大

○Eブロック

大経大 34－13 広島大
大経大 31－19 大分大
大経大 25－22 大市大
大市大 33－18 大分大
大市大 23－20 広島大
大分大 21－14 広島大

〔順位〕①大阪経済大②大阪市立大③大分大④広島大

○Fブロック

中部大 21－16 京教大
中部大 45－18 福教大
中部大 27－22 桃山大
桃山大 31－19 福教大
桃山大 22－21 京教大
京教大 27－19 福教大

〔順位〕①中部大②桃山学院大③京都教育大④福岡教育大

○Gブロック

大教大 22－20 名城大
大教大 33－13 神戸大
大教大 35－16 山口大
山口大 16－13 名城大
山口大 25－17 神戸大
名城大 31－20 神戸大

〔順位〕①大阪教育大②山口大③名城大④神戸大

○Hブロック

愛学大 18－8 岡山大
愛学大 20－20 東和大
愛学大 15－13 同志社大
同志社大 34－17 東和大
同志社大 27－16 岡山大
東和大 27－9 岡山大

〔順位〕①愛知学院大②同志社大③東和大④岡山大

▼インカレ出場決定戦

近畿大 18（7－10、11－7）17 桃山大
同志社大 21（13－6、8－8）14 関西大
山口大 32（12－17、15－10、2－1、3－2）30 天理大
大市大 24（12－12、12－9）21 愛教大

▼準々決勝

大体大 18（10－7、8－9）16 中京大
福岡大 31（14－11、17－10）21 京産大
大経大 32（18－11、14－10）21 中部大
大教大 27（13－7、14－12）19 愛学大

▼準決勝

福岡大 23（12－10、11－11）21 大体大
大経大 28（13－10、15－9）19 大教大

▼3位決定戦

大体大 21（10－11、11－8）19 大教大

▼決勝

福岡大 33（18－9、15－9）18 大経大

女子

▼予選リーグ

○Aブロック

武庫川女大 31－6 広島大
武庫川女大 32－7 大阪成蹊短大
中京女大 26－14 広島大
中京女大 48－13 大阪成蹊短大
広島大 22－19 大阪成蹊短大

〔順位〕①武庫川女子大②中京女子大③広島大④大阪成蹊短大

○Bブロック

大教大 26－8 岡山大
大教大 22－9 九州女大
大教大 25－13 京教大
京教大 16－16 九州女大
京教大 16－7 岡山大
九州女大 18－13 岡山大

〔順位〕①大阪教育大②京都教育大③九州女子大④岡山大

○Cブロック

福岡大 23－12 愛教大
福岡大 36－11 山口大
福岡大 22－18 天理大
愛教大 28－22 天理大
愛教大 23－9 山口大
天理大 28－16 山口大

〔順位〕①福岡大②愛知教育大③天理大④山口大

○Dブロック

大体大 24－10 関西外大
大体大 41－6 鹿児島大
大体大 32－11 中京大
中京大 24－6 鹿児島大
中京大 23－13 関西外大
関西外大 18－17 鹿児島大

〔順位〕①大阪体育大②中京大③関西外語大④鹿児島大

▼準決勝

武庫川女大 21（7－8、14－7）15 大阪教大
大阪体大 31（13－7、18－5）12 福岡大

▼3位決定戦

福岡大 28（15－7、13－8）15 大阪教大

▼決勝

大阪体大 20（11－8、5－9、2－0、1－2）19 武庫川女大

女子ジュニア世界選手権大会代表決定

次代を担う選手たちの活躍に期待！

第6回女子ジュニア世界選手権大会は、10月23日から11月1日までの15日間、デンマークで世界から16ヵ国が参加して開催されるが、その日本代表メンバーをここに紹介しておく。

この大会では、ソ連、韓国などの強豪が参加するが、次のオリンピック出場に賭ける日本代表チームがどのような戦いぶりを見せてくれるか、大いに期待したい。

女子ジュニア世界選手権大会派遣選手団

団長	伊藤和夫	1928. 1.10	日本協会常務理事
監督	藤原侑	1942. 1. 1	日本体育大学
コーチ	梶原俊介	1948. 2.28	ジャスコ
コーチ	鈴木孝八郎	1942. 7.11	水海道第二高校

選手		氏名	生年月日	身長	体重	所属
G.K	1	梅津直美	1967. 3. 1	169	59	日立栃木
	12	三浦葉子	1968. 1.13	174	65	ブラザー工業
	16	小松崎浩子	1969. 9.22	180	68	水海道第二高
F.P	2	大林恵子	1967. 1. 1	158	54	東京重機工業
	3	太田弥生	1967. 3. 8	162	62	日本ビクター
	4	武津優子	1967. 9.19	172	59	立石電機
	5	小池美由紀	1967.11. 7	164	61	大和銀行
	6	市来未央	1968. 1. 3	159	63	日本体育大学
	7	松田史佳	1968. 5.14	162	54	北国銀行
	8	貞本三奈子	1968.11.17	161	56	大和銀行
	9	稲田知鶴	1969. 1.20	173	58	ジャスコ
	10	白鳥貴子	1967.11.13	168	68	筑波大学
	11	山之内理代	1969. 2.26	176	64	日本ビクター
	13	森田初美	1968. 7.20	172	64	大崎電気工業
	14	小林江利子	1968. 8. 6	165	62	日本体育大学
	15	川井理恵	1968.10.19	160	55	ジャスコ

（財）日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二六七号
昭和四十年六月 第三種郵便物認可
昭和六十二年九月二十五日 印刷
昭和六十二年十月一日 発行
東京都渋[illegible]南一－一－一 編集兼発行人 大野金一
電話 代表（[illegible]）二三六一
振替 東京 六－五八三四八番
定価三百五拾円（年間購読料三千三百円）